

# 01 移住・定住促進

---

### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
千葉県 流山市  
【転出元】  
千葉県 流山市  
【前職】  
スポーツ施設運営管理  
【活動時期】  
R3.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

まず移住を考えたがきっかけが、「広い土地で一軒家を建てて暮らしたい」という気持ちでした。旭川は自然がいっぱいで、でも北海道第2の都市と言われていて、医療機関や学校、スーパーなどととても充実していて、さらに東京まで1時間半でいけるととても便利な空港が近くにありまので、とても良いところだと思いました。仕事については、偶然ですが、地域おこし協力隊の募集を見つけ、さらに内容も自分の今までの経験を活かせそうと思い、応募したところ、運よく採用していただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は私のような子育て世帯を対象に旭川の魅力を発信し、多くの方の移住の相談に乗っていきたいと思います。また北海道はとても多くの自治体で地域おこし協力隊が活動されているので、他の地域との連携したイベントもやっていきたいです。任期後に関しては子供の運動や高齢者の健康をサポートするような事業を立ち上げて、地域に貢献していきたいと思います。

### 活動内容

#### ●ウエルカム旭川&まちなかへGO

旭川に移住された方に、実際移住してどうだったかを取材させていただき、その生の声を私が作ったYOUTUBEちゃんねるで発信しました。協力していただけの方に、「いがっち商品券」という、まちなかにあるお店で使用できるオリジナル商品券をプレゼントし、足を運んでもらおうと思った企画です。



#### ●神居古潭魅力発見ツアー

旭川の成り立ちや歴史的にも重要な場所「神居古潭」、冬の時期は吊橋が閉鎖されていて、通常見ることができない冬の旧神居古潭駅を見に行きました。鉄道好きな方や歴史に興味のある方など遠方からも来ていただきました。また、急遽NHKさんの取材が来られ、テレビで放映されました。



#### ●いがっちの旭川案内

東旭川町のシェアハウスの管理人と連携した事業になります。こちらには1ヶ月程度の短期滞在で毎月のように全国様々な地域から入居者が来られているので、その方々に旭川の魅力ある場所を案内し、少しでも旭川に住みたいなど感じてもらえたらと思っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Twitter : [https://twitter.com/igatti\\_ijyu](https://twitter.com/igatti_ijyu)

YouTube (いがっち移住ちゃんねる) ↓

[https://www.youtube.com/channel/UC-ObIWRNT\\_CVSErfMU-Snvw](https://www.youtube.com/channel/UC-ObIWRNT_CVSErfMU-Snvw)



### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
北海道 洞爺湖町  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前職】  
広告業・旅行観光業  
【活動時期】  
R3.4～ R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

数年前より旭川市や圏域の海外向けPRに携わったことを機に、旭川市の都市機能と自然が隣り合う環境をとっても魅力に感じると同時に地域課題にも触れてきました。そんな中、旭川市に暮らすパートナーと今後の拠点をどこに置かかを検討していた頃に本市の協力隊募集を見つけ、これまでの経験を活かして何かの役に立てればと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊は、市民と行政の真ん中にいる存在だと思っています。旭川市は人口が約34万人と決して小さな街ではなく、一個人が3年間で与えることのできる影響は大きくはないかもしれませんが、私の思う旭川の魅力に共感して下さる方々と共に市民が誇れるまちづくりに寄与していきたいと思えます。

任期後は民泊やローカルツアーの企画、市内で製作されるプロダクトを中心としたアウトドアショップなど、市内外国内外問わず旭川愛を伝えられるよう取り組みたいです。

### 活動内容

#### ●移住PRイベント「あそびかわ」の開催

令和3年10月に東京都昭島市にあるモリパークアウトドアヴィレッジにて、旭川市や近郊町で製作されるアウトドア関連プロダクトの展示と移住相談会を実施。アウトドアに特化したショッピングモールを会場にすることにより、都市部に住むアウトドア好きな移住希望潜在層に本市をPRすることができました。



#### ●転入者の会開催

本市へ転入して概ね5年以内の方々を対象に、「旭川での暮らしをちょっと豊かにする」をテーマにした転入者の会を不定期で開催しています。雪だるま作りや山野草観察会など、何気なく見過ごしてしまうものに目を向けることで、この地にある「特別」に気づいていただけるような企画を考えています。



#### ●移住希望者の市内案内

友人・知人からの紹介やSNSを通じたリクエストに応じて、本市への移住を検討している方々に向けて市内案内を実施しています。旭川の魅力は食・工芸・自然など多岐に渡るため、各々にあった場所や人、技を紹介することで移住後のビジョンを具体的に持っていただけるよう努めています。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

旭川市地域振興部地域振興課  
(メールアドレス) [chiikishinko@city.asahikawa.lg.jp](mailto:chiikishinko@city.asahikawa.lg.jp)  
(電話番号) 0166-25-5316



### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
北海道釧路市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
販売職  
【活動時期】  
R3. 6～

### 協力隊に応募したきっかけ

大学時代、ゼミナールで質的社会調査や行政職員の方々と関わる場面があり、もともと「町おこし」というものに関心がありました。また、大学卒業後は小樽市内で販売・接客業をしていたのですが、「いつかは地元釧路市で働きたい」という思いがずっとあったため、地元で地域おこし協力隊を募集しているのを知り、すぐに応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の目標としては、「何かしらの形で地元に関わり続ける」ということです。今までは「地元に貢献するためには必ず地元になければいけない」と思っておりましたが、協力隊として活動している中で、どこにいても何かしらの形で地元貢献し続けられるということに気づくことができました。任期後も道東・釧路市阿寒町をこれからも盛り上げる1人でいたい。そのために、自分の活動の幅を広げ、地域で活動している方々ともっと深く関わりを持っていきます。

### 活動内容

#### ●情報発信（阿寒町を知ってもらう）

協力隊1年目では特に、まずは「阿寒町を知ってもらうための仕組みづくり」に努力してきました。主にSNS運営や町内向け広報誌の作成などを行い、外の人だけでなく、地域の方々に向けて阿寒の魅力を見つけてもらえるように発信しています。2年目・3年目と今後も継続して行います。



#### ●ツアー事業（阿寒町にきてもらう）

阿寒町を知ってもらえたところで、今年度は次のステップとして「阿寒町にきてもらう仕組みづくり」に取り組んでいます。「阿寒町の暮らしのぞき見ツアー」と題し、暮らしに特化した内容にしました。阿寒町を知り、関わりを持っていただけたことが大きな成果だと感じます。



#### ●地域の方々との繋がり

阿寒町商工会青年部をはじめ、地域の方々との関わりを増やしてきました。町内のボランティアサークルの活動やお祭りのお手伝いなどを通して、子供から高齢者の方々まで幅広く関わることができています。特に今年度行ったツアー事業では地域の皆さんにご協力いただきました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://linktr.ee/akan.chiikiokoshi>



### 基本情報



【年齢】 25歳

【活動時期】 R3.6 ~

【出身地】 大阪府 大阪市

【転出元】 大阪府 大阪市

【前職】 メーカー技術職

### 協力隊に応募したきっかけ

もともとカメラマンとして活動していきたい思いと、地方と都会を結ぶ仕事をしたい思いがあったことから、道内で地域活性活動をされている方とご縁があって繋がり、その方から紹介いただいた阿寒町内のゲストハウスでお手伝いをしながら、カメラマンとしても活動を始め阿寒町にて長期滞在を始めました。

その後、阿寒町で協力隊を募集するという話を聞き、また活動内容が情報発信と自分のスキルを活かせる場だと感じ、応募に至りました。

### 今後の抱負・任期後の目標

阿寒町の最も大きな課題の一つである「空き家対策」について残りの期間で担当して行きたいと考えています。空き家バンク制度や移住体験住宅など、移住者が阿寒町に住む一歩をサポートできるような制度の土台を作って行きたいと考えています。

任期後については模索中です。阿寒町に残りたいという思いはあり、また副業のカメラマンとしての仕事も継続させて行きたいので、その両方を満たせる形を今は探っている状況です。

### 活動内容

#### ●情報発信

ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、noteなど様々なSNSやプラットフォームを使って町の情報発信を担当しています。各SNSの特徴やフォロワー層などを解析して、そのSNSに合った情報発信を行なっています。

(写真はインスタグラムで発信しているマガジン)



#### ●移住・定住促進

今年度は、阿寒町に興味を持ってくださった方や、北海道に移住を検討されている方を実際に阿寒町にお呼びし、北海道での暮らしや阿寒町での暮らしのイメージを持っていただくことを目的とした「移住体験ツアー」を実施しました。



#### ●地域活動に参加

町内の商工会青年部に加入し、町内のイベント運営や祭りのスタッフ、清掃活動などの地域活動に参加しています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [akan.chiikiokoshi@gmail.com](mailto:akan.chiikiokoshi@gmail.com)

(電話番号) 0154-66-2122 (阿寒町行政センター地域振興課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

<https://linktr.ee/akan.chiikiokoshi>

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
青森県階上町  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.5～R6.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

美唄市への移住を検討し、仕事を探していたところ、市が協力隊を募集していることを市内に住む知人から聞き、応募した。

美唄市に本拠地を置く野球の独立リーグ球団・美唄ブラックダイヤモンドズの選手たちが、美唄のために活動している姿に感銘を受け、自らも少しでも美唄の力になることができれば、という思いから、協力隊になることを志願した。

### 今後の抱負・任期後の目標

より多くの方に美唄市のことを知っていただき、実際に美唄に来ていただいたり、何らかの形で美唄とのつながりを持っていただけるように尽力していきたい。

任期後は、こういった形で美唄と関わっていくかは未定ではあるが、任期終了後も住みよい美唄市に定住したいと考えている。

### 活動内容

#### ●移住・定住の促進

移住を検討されている方の相談に応じたり、首都圏で開催される移住関連イベントなどに参加し、美唄のPRを実施。

また、移住後の生活をイメージしやすいような移住・定住に関する情報をまとめたパンフレットや助成制度を案内するチラシなどを作成。



#### ●空き家バンクの運営

これまで外部に依頼していた空き家バンクを市で運用するにあたり、掲載の受付やホームページの更新を行っている。

更新の頻度を上げ、美唄への移住を検討されている方に迅速に情報を提供し、空き家や空き地を有効に活用していただけるように取り組んでいる。



#### ●関係人口創出

【ふるさと美唄応援団】制度を運営。美唄に興味を持ち、関係を深めていただだける方を増やすべく、メールマガジンやSNSなどで美唄の最新情報を発信するほか、PRイベントなどを行っている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) kikaku@city.bibai.lg.jp (電話番号) 0126-62-3137

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

美唄市地域おこし協力隊Facebook

<https://www.facebook.com/LVCofBIBAI>

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
岩手県 花巻市  
【転出元】  
北海道 札幌市  
【前 職】  
食肉卸 営業  
【活動時期】  
R4.4～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

Instagram広告で募集を見たことがきっかけ。  
大学時代は地域振興について学ぶ機会があり、自分の得意なスポーツと江別市の強みを掛け合わせてまちを盛り上げたいと思い応募した。  
札幌の近隣という立地のよさ、市と民間を繋ぐような立場で活動できることを活かし、江別に新しい風を吹き込みたい。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は事業者と協力しながら子どもたちと触れあうイベントを企画し、体験のなかで学びのあるコンテンツを作っていきたい。今後は市内のみではなく、周辺地域との連携も視野にいれたい。  
任期後の目標としては、地域資源を活かして道外からの教育旅行ニーズに合わせたサービスを提供できる団体を設立したい。長期的なアプローチの結果として移住・定住につながっていくのではないかと考える。

### 活動内容

#### ●えべつフォトマップ作成

江別市内の魅力に触れる「えべつフォトマップ」の制作。  
若年層向けの内容で、市内4大学の学生に江別の魅力をより知ってもらいたいという狙いもある。市内各所に配布。



#### ●えべつマルシェ 出展

えべつマルシェにて、子どもと外で遊ぶ体験ブースの出展。  
今後は事業者との連携を上手く行い、遊びの中の体験に学びを付与できるようなコンテンツを提供していきたい。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram [chiikishinko.ebetsu](https://www.instagram.com/chiikishinko.ebetsu) 【北海道】江別市地域おこし協力隊



### 基本情報

【年齢】  
59歳  
【出身地】  
北海道 札幌市  
【転出元】  
宮城県 仙台市  
【前職】  
FMアナウンサー  
【活動時期】  
R3.4.12～R6.4.11  
(1年目)



### 協力隊に応募したきっかけ

三笠市の自然とおいしい農産物の魅力に惚れこみ、いずれは三笠市に移住をしたいと考えていました。

いざ移住を決め、三笠市での仕事を探していたところ、地域おこし協力隊で移住定住PR部門の募集があることを知り、三笠市の魅力をもっと多くの人に伝えたいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

三笠市の認知度を高め、移住に興味を持って貰いたいです。また、活動を通じてSNSなどを活用した発信力を高め、任期後も自分なりに三笠市の魅力発信を続けていきたいです。

### 活動内容

#### ●移住定住PR動画「みかさぐらしチャンネル」

移住者のリアルな暮らしや三笠市の魅力を移住者目線で取材・編集し、動画で発信しています。



#### ●移住相談

市役所の移住相談窓口や首都圏で開催される移住フェアなどのイベントで、移住検討者の方に自身の体験を交えつつ移住に当たっての心配事、悩み事の相談にのっています。



#### ●地域イベント出演

地域イベントのトークショーなどに出演し、前職で培ったトークスキルを発揮して、三笠市の魅力を多くの人に発信しました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [teijyuuk@city.mikasa.hokkaido.jp](mailto:teijyuuk@city.mikasa.hokkaido.jp)  
(電話番号) 01267-2-3182

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

YouTube :

[https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/mikasalife/detail\\_sp/00010990.html](https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/mikasalife/detail_sp/00010990.html)

### 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
長野県松本市  
【前 職】  
ケーブルテレビ局職員  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

砂川には親戚の家があり、子どものころによく訪れた愛着のある場所です。  
札幌の高校を卒業した後は群馬県の大学へ進み、長野県のケーブルテレビ局で記者やカメラマンとして働いていましたが、やはり北海道のためになる仕事をしたいと思って協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

10年近く本州で暮らしてきましたが、道外の多くの人にとって砂川は「知らないまち」だと思います。  
「知らないまち」は住む場所の選択肢にならない。だからこそ様々な形でアピールをして「どこかで見たことがあるまち」「行ってみたい、住んでみたいまち」にイメージを変えていくような情報発信をこころがけていきたいと思えます。

### 活動内容

#### ●映像を使った情報発信

前職での経験を活かし、イベントや行事の開催時には取材に赴いて、撮影および編集作業を行い、動画投稿サイトYouTubeに投稿している。投稿は不定期、頻度は月7～10本程度。花火大会などは生配信を行ったりしている。



#### ●移住定住促進業務

お試し暮らし事業で利用する住宅の管理や、体験者との交流や市内案内を行っている。移住相談会等に参加し、砂川市のPR及び移住体験を基に相談に対応している。また、上述した映像を使った情報発信も活用し、砂川市への移住をPRする動画も作成している。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) kikaku@city.sunagawa.lg.jp (電話番号) 0125-74-8767

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) <https://ja-jp.facebook.com/sunagawa.hokkaido.chiikiokoshi/>  
(YouTubeチャンネル) <https://www.youtube.com/channel/UCyO99GmV8EPuh3sJ-j2J8VQ/videos>

### 基本情報



【年 齢】  
45歳  
【出身地】  
北海道 江別市  
【転出元】  
北海道 登別市  
【前 職】  
フリーランスで活動  
【活動時期】  
R4.9～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

インテリア関連の仕事をしており、イベントの企画運営や、その中で出会ったインテリアショップや北手工芸作家と繋がり、北海道各地を飛び回っていました。登別市の「関係人口コミュニティマネージャー」の募集を知り、自分自身が仕事で関わった地域の関係人口ではないかと考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

「関係人口」は多くの人にとってまだ聞きなれない言葉ではありますが、居住地以外の地域との多様な繋がりを提案していきたいです。まずは私自身が登別での暮らしを楽しむこと、さらには今まではない楽しみ方を地元の方と一緒に企画したいと考えています。その様子を外に向けて発信し、「気になる登別」をPRしていきたいです。

### 活動内容

#### ●「DOORS,noboribetsu」企画及びチラシ作成

ワーケーションでも利用が期待される日本工学院北海道専門学校内に整備されたコワーキングスペースを充実させるための企画を提案。仕事の合間に楽しめるスイーツやドリンクの用意、アイヌ文化や自然を紹介する書籍の配置など検討。また、移住・ワーケーションをPRするためのチラシも作成した。



#### ●マーケットイベント「LOPPIS」の出展者とコラボ企画

LOPPISに出展するピザ屋と協同し、のぼりべつ酪農館のチーズ5種と熟成ベーコンを使用した登別ピザを販売した。さらに、別ブースを設けて登別ブランド推奨品(閻魔ラーメン、わら納豆等)を販売するとともに作成した「DOORS,noboribetsu」のチラシを配布し、登別市のPR活動を実施した。



#### ●ワーケーションの実施

以前の仕事等でのコミュニティを活用して、個人のワーケーションを実施し、日本工学院北海道専門学校のコワーキングスペースでワーク(仕事)をしてもらいながら、市内の観光地や地元グルメを堪能してもらうためのアテンドを実施した。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(登別市総務部企画調整グループ)

Mail : [kikaku@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:kikaku@city.noboribetsu.lg.jp) Tel : 0143-85-1122

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Facebook) <https://www.facebook.com/noboribetsuchiikioko>



@doors\_noboribetsu



### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
北海道 函館市  
【転出元】  
大阪府 枚方市  
【前職】  
雑貨セレクトショップ  
店長兼バイヤー  
【活動時期】  
R3.7～ R6.6  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

両親が函館市出身で、幼い頃から夏休み期間だけ帰る函館が大好きで、道南地域に思い入れがあります。前職で、日本各地の伝統工芸など産地で頑張っている方々のプロダクトをお店として、多くの方々に伝えることをしてきましたが、次は自分のルーツのある大好きな土地でそれがしたい！と思ったのがきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

少子高齢化、過疎化が進み、私が幼い頃に見ていた景色とは違う状態になっているのを痛感しています。北海道の中でも、道南は今後の消滅可能性都市が上位にあり知っている町が無くなるのは免れません。ただ、今暮らしている方々、これから移住する方々にとって適切な情報を伝え、楽しいこと（音楽や文化的なこと）を一緒に創っていきたいです。任期後も、道南に住み同じ想いの方々と一緒に道南を盛り上げていきたいです。

### 活動内容

#### ●活動内容：移住関連イベント

鹿部町には、大和ハウス工業様が運営するロイヤルシティ鹿部リゾートがあります。森林住宅地区には、他道府県からの移住者が多く、都会ではできない、素敵な暮らしを送られています。オンラインで鹿部町は知らないけれど、行ってみたい！と提供いただけるようにイベントに参加。



#### ●活動内容：動画制作

活用されていなかった、鹿部町公式YOUTUBEチャンネルを運営。移住、観光情報を含んだ動画をアップ。町のコミュニティバス（しかバス）、関西から移住してからの暮らし、JALふるさと応援隊さまとの動画を企画から制作。現在は他の協力隊と一緒にチームとして制作できるようになりました。



#### ●活動内容：自分で創るイベント

趣味の活動×地域。  
協力隊の活動を超えてできることとして、町の加工会社さまの宣材用動画作成、協力隊OBのカフェ支援、音楽イベント開催（鹿部町、函館）など、鹿部町だけではなく道南地域の方々とつながることを企画しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) kurashi\_shikabe

(youtube) [https://www.youtube.com/channel/UCjqkj7d9x2nEkYJkAxW\\_vZA](https://www.youtube.com/channel/UCjqkj7d9x2nEkYJkAxW_vZA)

### 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
北海道 札幌市  
【転出元】  
東京都 板橋区  
【前 職】  
人材会社の営業職  
【活動時期】  
R3.12～

### 協力隊に応募したきっかけ

新型コロナウイルスの流行もあり、自分の生き方や働き方を見つめ直したことがきっかけです。色々考える中で、自分が大切にしたい価値観が「人との繋がり」「自然が近くにあること」だと気づいたこと、自分で事業を興したいという思いもあったので、出身地である北海道で協力隊として活動したいと思い、応募しました。主にSMOUTを活用して、求人を探している中で、八雲町の業務内容がまさに、自分が求めている価値観や環境であると感じ、八雲町を選びました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、担当している業務を卒業後も継続できるよう、本格的な事業化を目指して、協力隊の任期中にできる限りのチャレンジをしたいと思っています。具体的には、収支バランスの取れた事業計画を立てて、事業運営ができるようになること、困ったときにお互い助け合えるような人との繋がりを作ること、少しでも多くの方に八雲町を起点に、道南、北海道の魅力を知ってもらえるように、情報発信を継続することに取り組んでいきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●廃校活用施設の運営

元小学校をリノベーションしたキャンプ&ワーケーション施設「ペコレラ学舎」の運営を担当しています。キャンプ場・校舎内の施設整備、イベントなどの企画運営の他、今年度はワーケーション事業に注力して取り組んでいます。

<https://pekolela.com/>



#### ●ワーケーション事業の推進

八雲町で観光事業を行うNPOと連携し、ワーケーション事業の推進に取り組んでいます。令和4年度に6回のモニターツアーを行い、提供するコンテンツの企画・調整、参加者の受け入れ、受け入れ後の改善を実施しながら、令和5年度以降の本格的な商品化やパッケージ化を目指しています。



#### ●道南広域観光事業の運営

道南の観光事業を底上げするために組織された団体「Discover Southern Hokkaido」の事務局を担当しています。道南各地域でのモニターツアーの開催や観光事業者向けの勉強会などの開催、道南サミットという道南を様々な分野で盛り上げていこうという団体への参画など多様な業務を行っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://lit.link/89mo>



### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
福岡県小郡市  
【転出元】  
福岡県小郡市  
【前職】  
青年会協力隊  
【活動時期】  
R2.10～R5.9  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

募集内容が空き家を利活用した活動だったため「空き家を利活用して起業したい」と考えて興味を持ちました。応募前には、ふるさとワーキングホリデー事業で1か月以上滞在しながら野菜農家の手伝いをしました。地域に住む中で人の温かさにも触れることができ、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

【活動中に大切にしたい事】  
挑戦したい人の為に、お互いが支え合うことが出来る関係性構築

【任期後の目標】  
起業しコーヒーを通じて人と人が交わり集まる店づくり

### 活動内容

#### ●空き家を通じて地域のコミュニティ形成

廃校になった旧北成小学校の隣にある旧教職員住。宅築50年たった空き家を地域資源として活用するためDIYし、地域活性化を目指しています。DIY講座を開催し、多様な人が集まるコミュニティの場づくりに挑戦しています。



#### ●DIY活動コーヒースタンド製作

任期後の目標であるコーヒー屋として起業を目指すため、冬の町のイベントにも出展できるように地域の協力を得てDIY活動を行いました。



#### ●外からの目線で鷹栖の魅力伝える

コロナ禍で地域への行き来が難しいなか、少しでも地域のことを知るとともに興味をもってもらい、アフターコロナで来てもらえるように、関係人口創出を目的として、都市部の若者へ自身の活動などをオンラインで伝えました。また、実際の受入れも行いました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kikaku@town.takasu.lg.jp](mailto:kikaku@town.takasu.lg.jp)  
(電話番号) 0166-87-2111 (鷹栖町役場総務企画課地域振興係)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
鷹栖町地域おこし協力隊SNS : twitter : @TKS\_kyoryokutai



### 基本情報



【年齢】  
47歳  
【出身地】  
大阪府 豊中市  
【転出元】  
東京都 練馬区  
【前職】  
団体役員  
【活動時期】  
R4.4～  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

子どもの高校進学先を検討した際に、大空町立の大空高等学校と出逢いました。オープンスクールに参加するために大空町を訪問した際に、学校の教職員の方や、町役場の方、地域の方々がとても親切で、自然豊かな環境でありながら、主要都市まで2時間圏内という立地の大空町で、わが子の残り少ない子ども時代を、豊かな地域コミュニティの中で、親子一緒に生活したいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊をきっかけに、社会教育士になるための学習や、地域でイノベーションを起こしていくための知識取得の学びなどの機会をいただいています。自身の考案したベビーダンス®️をより多くの方々に知っていただけるような、地域に根差した社会貢献活動を行っていきたく考えています。まだ北海道の冬を体験していないので、できるだけ早く地域に慣れていけるよう、努力し地域の方々から学ばせていただきたいと思います。

### 活動内容

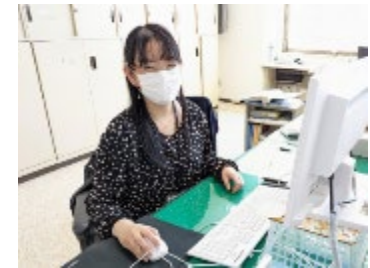
#### ● SNS・ウェブサイトを用いた移住定住の情報発信活動

移住相談・支援業務のほか、大空町の移住定住促進のためのSNS発信業務を行っています。ウェブサイトやインスタグラム等への投稿のための取材・撮影、動画編集・ライブ配信など、投稿業務を行っています。また、大空町からのSNS発信のための研修の機会を与えていただいたことで、新たなスキルを身に着けるなど、自己研鑽を積むことができました。



#### ● 広報誌等で町の魅力を発信

大空町の地域おこし協力隊隊員が担当する大空町の魅力発信コーナーの記事や、ご家庭でも手軽にできるエクササイズの紙面記事を新たに担当させていただきました。町の方々が楽しみに読まれている町の広報誌を担当させていただいたことで、日常の出来事や大空町の雄大な自然の変化をしっかりと感じ取ることができました。



#### ● ベビーダンスを用いた子育て世代との交流

自身が考案した赤ちゃんを抱っこして踊るベビーダンス®️教室を毎月実施しています。大空町の地域情報発信アプリを活用して告知を行うなど、大空町のバックの元、ライフワークである子育て支援活動を続けさせていただいています。テレビや新聞などにも取り上げていただき、今後の活動が楽しみです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) support110@town.ozora.lg.jp  
(電話番号) 0152-74-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
大空町 移住・定住支援室サイト <https://ozoralife.com/>  
その他SNS <https://lit.link/ozoralife>

### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県川崎市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.11～R6.10  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から、田舎の豊かな資源に魅力を感じ、田舎の豊かな資源を都会生活者に発信し、都会に豊かさを、田舎に消費をもたらすような循環をつくりたいと考えており、何より自分も豊かな田舎で生活をしたい、という思いから移住を決断した。豊かな資源を持つ北海道を中心に移住先を検討し、洞爺湖畔と町の雰囲気を見て壮瞥町に移住したいと思うようになった。そのタイミングで壮瞥町で移住・定住担当（移住コンシェルジュ）の地域おこし協力隊を募集していたため応募に至った。

### 今後の抱負・任期後の目標

移住・定住担当の地域おこし協力隊としては、現状、移住検討者へのオンライン移住セミナーや移住相談の対応を行っている。今後は、定住施策として移住済みの方のフォローアップにも力を入れていきたい。具体的には移住者同士をつなぐ懇親会の開催や、移住者コミュニティ作りに取り組む予定。また任期後は、洞爺湖畔の見える場所に拠点を構えて、食を中心に人が集う場所を持ちたいと考えている。

### 活動内容

#### ●「地域のおそびば ミナミナ」の設置・運営

人が集える場所、町の人と触れ合う場所、地域おこし協力隊として町の“素敵”を伝えたり、職業訓練をしたりする場所が欲しいとの思いから、2022年8月に設置。

「そうべつを知り、そうべつをつなげる」をテーマに町のコミュニティスペースであり、地域おこし協力隊の活動拠点として運営。

町のワインぶどうの収穫祭と銘打って、生産者を交えた懇親会を行ったり、町内外の何かをやりたい方を巻き込んでイベントを開催したりするなど、町の新たな賑わいの場としても活用している。



#### ●移住相談対応と移住体験住宅の運用

移住検討者の相談窓口として、自身の移住の経験や、町の制度や町の様子、町内外の資源について、移住検討者に生の情報を提供している。移住検討者が納得して移住できるように情報提供するように心がけ対応している。

また町の移住体験住宅の運営管理も担っている。



#### ●オンライン移住イベントの開催

北海道の移住担当者の任意団体「北海道移住のすゝめ」に所属し、不定期でオンライン移住イベントを開催しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(町のブログ) <https://www.town.sobetsu.lg.jp/iju/kyo/>

(町のfacebookページ) <https://www.facebook.com/Sobetsu>

(町のinstagramページ) <https://www.instagram.com/sobetsu/>

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
神奈川県 横浜市  
【転出元】  
北海道 帯広市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.5～R7.4  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

前職で弟子屈町を担当エリアとして持っていたので2年ほど通っており、とても魅力的な町だと感じていました。仕事でお世話になっていた町民の方に「弟子屈町に住んでみたい」と話していたら、「空き家問題に取り組む協力隊を今度募集するので応募してみは？」と勧められました。協力隊制度に以前から興味があったこと、移住希望者がいても住居が足りない、空き家が多いといった課題を前職から感じていたこともあり、「当事者として課題解決に取り組んでみたい」と思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の人や地域のことを協力隊という立場からより深く学び、根本的な課題解決に取り組んでいきたいです。行政と民間をつなぐ立場だからこそ学べる事、繋がるご縁があると思いますので、協力隊期間中はできる限り地域活動に参加するなど、楽しみながら町のことを知り、感じた魅力を町内外の人に知っていただけるように発信していきたいです。任期中に得たことを地域のために還元できるように、人と地域をつなぐゲストハウスを開くことが現時点での目標です。

### 活動内容

#### ●移住コーディネーター

窓口相談の他、オンライン移住相談を行っています。事前にオンラインでヒアリングを行い、プログラムを組むオーダーメイド制移住体験プログラムも行っていきます。また、移住者同士の食事会を開催したり、移住希望者のためのオンラインコミュニティを立ち上げ、交流イベントを開催する等、移住前の交流支援から移住した後のサポートも行っています。他には、移住情報に特化した情報発信（公式LINE、youtube動画「弟子屈町移住スタイル」等）を行っています。



YouTube  
弟子屈町公式チャンネル

#### ●空き家調査（DB化）

空き家バンク制度を推進し、住居不足課題にアプローチするため、町内空き家数の把握、空き家の管理者・持ち主、将来的な活用意思の有無を調査・データベース化するための活動を行っています。町内を回り、空き家の戸数・状態を調査した後、空き家の活用についてのアンケートを実施、活用意思がある方には個別でコンタクトを取り、空き家バンク登録を勧めることを考えています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(youtube) [https://www.youtube.com/channel/UC\\_Ta1K2GUj9ihIiqSxtT-PQ](https://www.youtube.com/channel/UC_Ta1K2GUj9ihIiqSxtT-PQ) (弟子屈町公式チャンネル内番組 弟子屈町移住スタイル)



### 基本情報



【年齢】  
40歳  
【出身地】  
愛媛県新居浜市  
【転出元】  
東京都大田区  
【前職】  
会社員 (IT/通信)  
【活動時期】  
H31.2～

### 協力隊に応募したきっかけ

- ▶ 結婚を機に夫の地元近辺へ移住をすることが決まっていた。
- ▶ 移住先で何か自分のキャリアアップへつなげられて、新たな経験ができることはないかということで、転職先を探していた。
- ▶ 標津町でのお試し暮らし体験を通して役場の方に色々とお世話になったことと、協力隊募集などのお話を伺い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

定住サポートセンターの業務全般を引き継ぐとともに、働く場所を問わないIT人材のためのコワーキングスペースの開業を目標にしています。

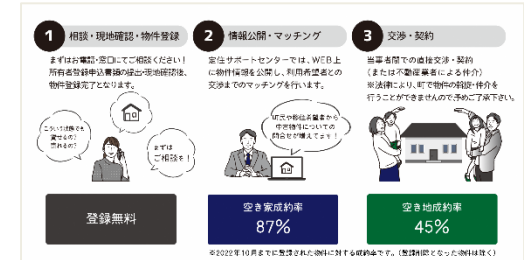
#### 【目標とするコンセプト】

- ▶ 町民や移住希望者が、起業しやすい拠点
- ▶ テレワーカーなどITの業務がしやすい環境の整備
- ▶ サテライトオフィスの提供を通じた関係人口づくり

### 活動内容

#### ●移住定住相談窓口

- ▶ オンライン・オフラインでの移住相談窓口対応
- ▶ 空き家・空き地バンク業務（現地確認・写真撮影・間取り図作成など）
- ▶ 移住フェアなどのイベント出展



#### ●移住定住関連の情報発信業務

- ▶ 定住サポートセンターのWEBサイト「しべつ暮らし」の構築・運営。
- ▶ 公式Instagramを2022年9月よりスタート。標津町の暮らし情報や魅力発信を行っていく。



#### ●新事業の企画立案

- ▶ 移住時に困ったことを基に、LINE公式アカウントの立ち上げを企画。
- ▶ ごみ収集日や分別BOTの作成・テスト運用実施。今後は本運用を目標に、役場の関係各所と連携して対応中。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/shibetsu\\_town\\_life/](https://www.instagram.com/shibetsu_town_life/)



### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
静岡県菊川市  
【転出元】  
静岡県浜松市  
【前職】  
個人事業主  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

インターネットで求人を探していたときに、地域おこし協力隊を見つけました。今まで東海地方を離れたことがなかったのですが、この制度で遠く離れた地に住めたら面白そうだなと思ったのがきっかけでした。

### 今後の抱負・任期後の目標

動画の投稿を継続的に行うことと、IT関連の知識や私の経験を基にした活動の増加です。

### 活動内容

#### ●YouTube動画投稿

七戸町のPRのために動画を投稿しています。町の文化や観光スポットにを紹介しています。



#### ●スマホ相談室

月一で主に高齢の方に向けたスマホ相談室を開いています。



#### ●DX推進支援

七戸町のバス時刻表のオープンデータ化や、議会のウェブ中継、DX推進基盤の整備の提案などしています。画像は東奥日報より引用。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCKXjgm2PmRovwcOIV0VvKATQ>

### 基本情報



【年齢】  
24歳  
【出身地】  
岩手県宮古市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
個人事業主  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3

### 協力隊に応募したきっかけ

地域教育に関心があり、アメリカの高校に編入しました。アメリカでの進学を検討していましたが、ゲストハウスやカフェなどが新たにできた地元・宮古市の盛り上がりを知り、帰国を決意しました。帰国後、宮古と東京で2拠点複業の生活を営むなかで複業の価値を感じ、「複業など多様ななかかわり方による関係人口創出事業」の募集を行っていた宮古市地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

宮古での雇用を生むこと。  
地域内コミュニティの結束を高めていくこと。  
面白い人がいる地域だと対外的に認知してもらうこと。

### 活動内容

#### ●遠恋複業課in宮古

宮古の企業・プログラムに複業としてかかわる「恋人人口（＝関係人口）」の増加を目指します。移住や定住とは違う、新たななかかわり方として、今いる環境を大事にしながら宮古を好きになってもらいたいと考えます。



#### ●Meet up! MIYAKO

「宮古市に住んでいる」または「宮古市で働いている」20代を対象としたイベントを開催しています。毎回、地域外で活躍する方をゲストとして招き、いろいろなお話を伺います。

「キャリア」や「働き方」をテーマに自己成長を促す機会を提供し、地域内の定住・定着につなげ、若者コミュニティを広げることや地域力を底上げすることを目的としています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) kikaku@city.miyako.iwate.jp (電話番号) 0193-77-5021



### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
千葉県野田市  
【転出元】  
東京都杉並区  
【前職】  
大手人材会社勤務  
【活動時期】  
R2.10～

### 協力隊に応募したきっかけ

転職を検討し始めた頃、パートナーからの提案でオンラインで全国移住フェアに参加したことをきっかけに、移住に興味を持ちました。移住をするなら、地域に溶け込み生活基盤を築きやすそうな地域おこし協力隊として働こうと考え、「①2人の希望に合う協力隊の募集があるか②千葉から車で移動できる距離か③人が合いそうか」という条件に合う地域を全国で探していたところ、偶然スカウトを頂いて仕事がマッチングしたのが陸前高田市でした。

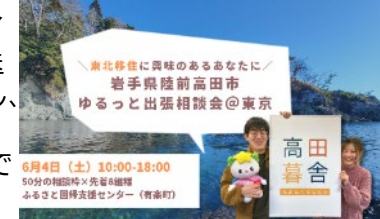
### 今後の抱負・任期後の目標

地域の良い部分はもちろんですが、マイナスになりうる要素も当然あります。そういった点もきちんとお伝えした上で、それでも陸前高田で暮らしたいと思ってくれて、「居心地が良くて気づいたら陸前高田の人になっていた！」ような人を増やすことが目標です。そのためにも、目指しているのは「圧倒的に寄り添う移住コンシェルジュ」。1人1人の話を伺いながら、相手に合わせたサポートを考え、提案し、移住後まで伴走させていただいています。

### 活動内容

#### ●1人1人に寄り添う情報発信・個別相談

会員37,000人以上の移住サービス「SMOUT」にイベントや求人情報を掲載しつつ、個別スカウトを送信し集客。SMOUT東北ランキングでは1位を維持し、令和2年度から200件以上の移住相談を頂きました。移住定住ともに、個別のやり取りやLINEグループでの発信を続けながら、丁寧にサポートしています。



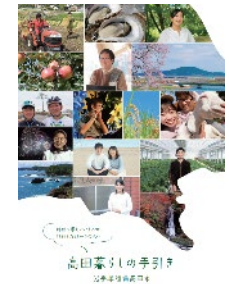
#### ●イベントの企画運営

移住検討者・移住者それぞれに対し、市内10団体が求人を紹介する「陸前高田しごとフェス」や3日間の滞在で叶えたい暮らしを見つける「お試し高田暮らし」、移住者が他の移住者や地元の人と交流できる「高田暮らし交流会」などを開催し、様々なニーズに応えるべく試行錯誤を重ねています。



#### ●移住パンフレット「高田暮らしの手引き」製作

私自身、縁もゆかりもない地域に移住してきた時に「欲しかった」と思う暮らしのあれこれ取材し、1冊の冊子にまとめました。相談時やアンケートの意見も踏まえ、生活費の実例や市内にあるコミュニティ、移住者や地域の方のリアルな声などを48ページに渡り、紹介しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Facebook) <https://www.facebook.com/TAKATAKURASHISHA>

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
岩手県 野田村  
【転出元】  
東京都 目黒区  
【前職】  
WEBライター等  
【活動時期】  
R3.11～  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

もともと「いずれは地元である野田村に戻りたい」と考えていたところ、野田村ウェブサイトにて「移住コーディネータ(地域おこし協力隊)」の募集を目にしました。これまで培ってきた技術を活かせると考え、また、当時はコロナ禍ということもあり、前職であるWEBライターでの仕事も減っていたことからもあり、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

情報発信、移住定住促進共に長期的な視点を持って取り組みたいと考えています。

### 活動内容

#### ●村公式SNS運用

Twitterやfacebook、YouTubeにて村の日常や行政上等を発信。野田村への愛着度や認知度の向上に努めています。



#### ●移住定住支援制度

県事業「移住支援金事業費補助金」や村事業「野田村定住促進事業費補助金」等の移住定住に係る補助制度などの周知、運用を担当しています。



#### ●野田村空き家情報バンク

村内の空き家や空き地の情報を集約し、持ち主と利用希望者の仲介等を行う当制度の担当をしています。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) mirai\_itk@vill.noda.iwate.jp  
(電話番号) 0194-78-2963 (野田村役場 未来づくり推進課)

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Twitter) [https://twitter.com/NODA\\_Iwate](https://twitter.com/NODA_Iwate)  
(YouTube)

<https://www.youtube.com/channel/UCphogK6c4MNXUWfXsN1GauQ>

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
山形県山形市  
【転出元】  
山形県山形市  
【前職】  
IT企業の営業、個人事業主としてWeb制作・運用・管理  
【活動時期】  
R3.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

友人が他自治体の地域おこし協力隊に着任し、存在を知ったことがきっかけとなった。

### 今後の抱負・任期後の目標

活動している秋保地区の空き家利活用事業のモデルをたくさん作り、地域が活性化するように尽力したい。  
任期後は、起業したいと考えており、秋保地区を拠点とすることも視野に入れているので、地域の方々に応援される存在になれるよう活動していきたい。

### 活動内容

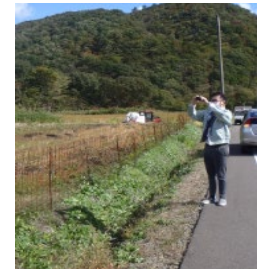
#### ● 空き家等を活用した移住・定住促進

空き家等の情報を収集し、定住・活用希望者との仲介に取り組むほか、成功事例等をSNSを活用して情報発信するなど、移住・定住の促進につなげる。



#### ● SNSを活用した地域活性化の取り組み

地域の魅力、情報を取材し、SNSを活用して発信することで、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す。



#### ● 地域資源を活用した交流活動の支援

地域団体が主催する地域資源を活用した体験交流活動を支援し、観光客や市民との交流促進による地域活性化を図る。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [aks015610@city.sendai.jp](mailto:aks015610@city.sendai.jp)  
(電話番号) 022-399-2111(代表)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(仙台秋保ナビ) <https://www.facebook.com/profile.php?id=100085531340347>



### 基本情報



【年齢】  
51歳  
【出身地】  
神奈川県川崎市  
【転出元】  
東京都江東区  
【前職】  
システム開発  
【活動時期】  
R2.10.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

仕事の関係で仙台によく来ていた関係でたまたま立ち寄ったところ、とても環境が良かったからです。妻にも紹介したところ大変気に入ったため、こちらで仕事を探しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

この素晴らしい土地を、東京に住む多くの方々に伝えていきたいです。任期後は分かりませんが、なにかしら関わりを持ち続けられたらと思います。

### 活動内容

#### ●Webサイト運用

SHIROISHIトというサイトを運用しています。イベントの報告などの記事を通して白石の魅力を発信している。今後、白石の人たちへのインタビュー記事も企画中。



#### ●白石でのイベント開催

休校中の校舎を活用したりしながら、白石の自然に触れていただくイベントの企画・開催を行う。イベントを通して白石の自然の中で自分と向き合う時間を過ごしていただいた。



#### ●SNS運用

地域おこし協力隊全体のtwitterアカウントやfacebookページ、個人twitterアカウントなど、様々なチャネルを使って白石の魅力発信に努めている。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://twitter.com/ShiroishiW>

### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
長野県下諏訪町  
【転出元】  
東京都江東区  
【前 職】  
施工管理  
【活動時期】  
R.2 10. 1～

### 協力隊に応募したきっかけ

友人の祖父母宅が白石にあり、訪れたことがきっかけです。城下町の造りと、自然へのアクセスが容易な環境に憧れ応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後はshiroishi base tokyoの運営を通じ、より多くの方に白石の情報に触れていただくとともに、SNSでの発信を行っていきたいと思います。

### 活動内容

#### ●shiroishi base tokyoにてイベントを開催

都心部と白石市をつなぐ交流拠点「shiroishi base tokyo」にて、集客を行いイベントを開催しました。この回は地方グルメをテーマに、広島県瀬戸田町のレモンや白石温麺を楽しんでいただきました。



#### ●近隣の店舗へご挨拶

週末には温麺を持って近くのお店にご挨拶に行きます。この日は白石温麺を販売頂いている近隣のアンテナショップさんのミニイベントにお邪魔し、様々な方に温麺を持ってお話をさせていただきました。



#### ●地域の若年層との交流

シロベイの活用事例としての一つとして、高校生たちのワークショップの場として使っていただいた事もありました。白石とはどんな場所か、なぜその場で暮らすことを選んだのかなどお話をさせていただきました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
@wksn\_Shiroishi

### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
東京都台東区  
【転出元】  
東京都台東区  
【前 職】  
GCストーリー株式会社  
【活動時期】  
R2.10.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

都会でずっと暮らしてきた中で自然豊かな地で心豊かに生きたいと思い、候補地を探していた所、知人から白石市を紹介してもらったため。

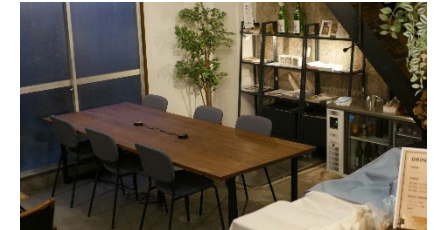
### 今後の抱負・任期後の目標

Shiroishi base tokyoやSNS等の活動を通して、この2年間で2000人を超える人に白石を認知してもらおうことができました。残り半年の活動では認知してもらった人に実際に白石に足を運んでもらえるような設計を検討していきたいと考えております。具体的には白石の町の人とのインタビューを行い、その後オンラインイベントを開催することでより深く魅力を感じてもらい、実際に白石のイベントを開催して白石の魅力に直接触れてもらえるよう頑張りたいと思います。

### 活動内容

#### ●shiroishi base tokyo による白石の認知拡大

イベントを定期的で開催し、蔵王の日本酒や白石温麺を提供したり、ランチに温麺を提供したり、白石の掲示物に触れてもらったりすることを通して、白石を認知してもらい、愛着を持ってもらえるよう取り組みを行っている。



#### ●白石での魅力を感じて貰うイベントの企画

白石にて白石の魅力を感じてもらえるようなイベントの企画開催を行っている。白石の自然や食に触れてもらいながら、参加者同士での対話を通してこれからの生き方、働き方を深めるイベントを開催。



#### ●SNSやWebを活用した情報発信

Shiroishi base tokyoに来てくれた人をfacebookにてコミュニティ化し、白石の日常や魅力的な場所の発信を行っている。そうすることで白石を身近に感じ、行ってみたいと思ってもらえるよう取り組んでいる。

今日は午前貸切でいらっしゃったお客様に温麺召し上がって頂きました！  
当店の人気おすすめは胡麻坦々風なのですが、ひっそり和風も売れております。  
柚子胡椒の味変が個人的にとっても好きで添えております  
梅のタバスコ「ブルムスコ」もお供にお楽しみください...! pic.twitter.com/pqfsjzyRY



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
@wksn\_shiroishi



### 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
兵庫県神戸市  
【転出元】  
東京都江東区  
【前 職】  
インハウスデザイナー  
【活動時期】  
R2.10～  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

偶然縁があり遊びにいった際に、自然の豊かさや城下町の雰囲気に着かれたのが応募のきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

白石に住む魅力的な方々について知るうちに、実際に会いに行きたいと思っただけのようなインタビューやイベントを実施しようと思っています。イベントでは、来た方が心豊かな時間を過ごしていただけるようなコンテンツを用意し、白石の魅力をより知っていただけるようがんばります。

### 活動内容

#### ●不忘山登山イベント

白石市の不忘山に登るイベントを開催しました。前日は山の近くのキャンプができる施設でBBQと焚き火をし、下山後は白石の温泉地の宿泊施設で身体を休めつつ参加者同士での対話を通して、それぞれの気づきを共有すると同時に、白石という土地への魅力を感じて帰っていただけました。



#### ●お寺で自己の内面と向き合うイベント

白石市にある傑山寺という坐禅体験もできるお寺にて、坐禅と写経を通して落ち着いた時間を過ごし、自分と向き合う時間を持っていただくイベントを開催しました。対象は、日頃忙しく仕事を頑張っている組織のリーダー層の方々と、落ち着いた時間をゆっくり過ごしていただけました。



#### ●休校中の学校で焚き火を囲んで対話イベント

白石市にある休校中の学校をお借りして、BBQや焚き火を囲んで対話するイベントを開催しました。翌日は参加者と白石の観光名所をいくつか巡り、昼食には宮城県の野菜を使用しているお店で食事を楽しんでいただきました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

HP

twitter [https://twitter.com/wksn\\_Shiroishi](https://twitter.com/wksn_Shiroishi)

### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
秋田県秋田市  
【転出元】  
大阪府大阪市  
【前職】  
伊藤忠丸紅鉄鋼(株)  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

秋田県外に住んでちょうど20年。母校ラグビー部の部員が集まらないニュースを聞き、何か自分でできることがないかを後輩に相談したことがきっかけ。動いているうちに、商社で15年勤務した経験を地元で活かすことができると考えた。また、それは地元・お世話になった方、家族へ恩返しする機会を作ることに繋がるので、当時の自分にとって最も良い選択肢としか思えなかった。

### 今後の抱負・任期後の目標

『秋田をスポーツで元気にする』を実現したい。地域おこしは地域資源の磨き上げや発信も重要であるが、人材が最も重要だと考えている。魅力ある人材が継続的に集まる活動をして、楽しく、盛り上げていきたい。

協力隊2年目で設立した会社を軸に活動していく。4年に1回のラグビーW杯イヤーにイベント開催を継続する。

### 活動内容

#### ●首都圏の秋田関係人口を繋ぐ！

秋田と関わり代の有る首都圏の企業や人材を探し訪ねて、繋ぐ活動をしている。首都圏には地域と関係を持ち、貢献したい人材や企業は多数存在する。秋田から出向いてその思いや活動内容を取材し、可視化する。その結果、次のアクションへ繋がり、地域創生に携わる人材を増やしていく。



#### ●ラグビーを通じた街の賑わいづくり！

スポーツ（ラグビー）を通じた街の賑わい作りを目指している。スポーツは観客の感動を呼ぶものであり、その選手が街の活性化や地域経済が回る活力となることは重要と考えている。2021年12月に秋田市の中心市街地でクリスマスパレードを開催した。



#### ●地域で観光客を呼び込んでパブリックビューイング！

2023年ラグビーW杯において、パブリックビューイングを実施したいと考えている。ラグビーチームの秋田ノーザンブレッツでGMを勤めており、そのリソースを活用する。県内・地元の企業や団体との連携を深め、県外からの観光客を呼び込んで開催したい。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) ro-plop@city.akita.lg.jp (電話番号) 018-888-5487

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】





### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
ベルリッツ・ジャパン(株)  
【活動時期】  
R3. 4月～R6.11月  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

日本各地を旅行することが趣味で、結婚を機に生まれ育った横浜以外の場所で生活することを検討。コロナ過でいくつかの地域に移住相談をし、祖父母が暮らしていた秋田市への移住を決意。移住前には現役隊員の方よりオンラインで相談にも乗っていただき、自分もせっかく移住するのであれば今後いらっしゃる方々のお役に立てるような移住定住コーディネーターの仕事に魅力を感じ応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

お子さんを抱えて移住、Uターンされている方が多く、移住された方も、秋田市民の方々にも家族で楽しんでいただけるような交流、イベントを企画し、実施していく。また、退任後は自身の家を改築し、小さなお子さんがいても気軽に訪れ、ランチをしたり、お子さんを遊ばせたり、利用者と交流できるような、カフェ、ゲストハウスの設営を目指す。

### 活動内容

#### ●7月移住者交流会

のんびり家族で交流TIMEと題し、空き家バンクから改築した広いゲストハウスのお庭をレンタル。大きなビニールプールを用意し、秋田のおじいちゃんおばあちゃんの家遊びに来たような体験のできるイベントを企画。大人も子どもも移住者さんのお店のピザランチを楽しみ、助産師さんに育児相談も◎。



#### ●移住WEB相談会

子育て編という形で、市内で産後ケア施設を運営されている助産師、子育てサポート団体の代表、マザーズハローワークの職員をお招きし、いずれも市内で子育てを経験されたママたちから生の声をお届け。移住後も頼れる場所があることをYouTubeにて配信した。



#### ●10月移住者交流会

市内の自然を身近に体験できる大森山キャンプ場を利用し、移住者家族と秋田市民のご家族が参加。地域情報や子育て情報の交流を行った。未就学児は地域の大学の保育課学生に託児を依頼。テントサウナとBBQを楽しんで、小さなお子さんがいても気軽にアウトドアを楽しめるようなイベントを企画。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

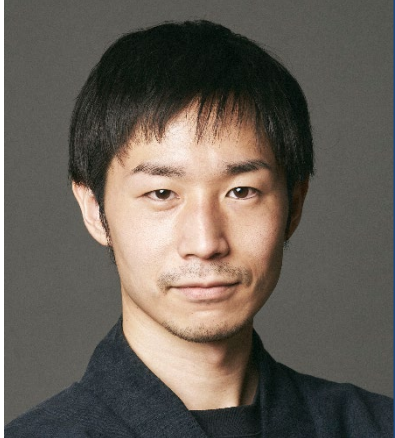
(メールアドレス) ro-plop@city.akita.lg.jp (電話番号) 018-888-5487

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】





### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
島根県安来市  
【転出元】  
東京都板橋区  
【前職】  
人事・採用  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

仕事の関係で、東京や沖縄、シンガポールなどさまざまな土地で暮らした経験から、知らない土地に住むということの楽しさを感じ、地方に移住したいと思うようになりました。

また、将来は、カメラを使ったビジネスの起業を考えており、協力隊活動の中で秋田市のPRを行い、起業につなげることが視野に入れて応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

写真・動画の撮影編集での起業を考えております。

### 活動内容

#### ● 写真撮影:移住促進ポスター/協力隊イベント撮影



#### ● 秋田市の魅力発信

■ 教育環境の発信動画(創造力と協調性を育むサウンドアート・スイカ割り)

<https://youtu.be/gGrpbpKbvQs>

■ 秋田市の景色とヨガのコラボ動画

<https://youtu.be/j7wUvLk4N3E>

■ 新規就農研修紹介動画

<https://youtu.be/igZF2LPy47g>



#### ● 移住検討者向け 生配信(YouTube Live)

■ 第8回秋田市移住WEB相談会[暮らし・流行・仕事・お笑い]

<https://youtu.be/tM0EpNA4kUK>

■ “秋田暮らし”をおうちで体験！秋田移住オンラインツアー「秋田市編」

<https://youtu.be/aWA5T-sgtuQ>



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) ro-plop@city.akita.lg.jp (電話番号) 018-888-5487

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



### 基本情報



【年 齢】  
42歳  
【出身地】  
東京都江東区  
【転出元】  
山形県南陽市  
【前 職】  
自営業  
【活動時期】  
H31.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

ボードゲームができるゲストハウスでのスタッフが、業務内容の地域おこし協力隊の募集があり、ゲストハウス、ボードゲーム、地域おこし協力隊の三つとも、興味・関心があったので応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

コロナ禍の中でもボードゲームのイベントなどを開催して、場所の認知や、つながりをつくりたいと思っており、今年には多くのイベントを企画します。

### 活動内容

#### ●ゲストハウス松本亭の運営

ゲストハウス松本亭一農舎に来られた来訪者・宿泊者の方のおもてなしや、空気神社などの町内案内のほか、移住交流のきっかけ作り、つながり作りを行っています。

(松本亭への宿泊をきっかけに移住を検討された方も！)

また、フリースペースとして場所を開放し、地元の子どもたちなど、地域住民の交流の場として利用いただいています。



#### ●ボードゲームで交流づくり

交流する人を増やし、世代間や町内外の交流づくりのため“大人もボードゲーム大会”などボードゲームを通じた交流の場作りを複数回行っていきます。町内外からの参加者に参加いただき交流の場として利用いただいています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) info@1no.jp (職場)  
(電話番号) 0237-84-0880 (職場)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
<https://www.facebook.com/1nojpb>

### 基本情報



【年 齢】  
22歳  
【出身地】  
山形県鮭川村  
【転出元】  
山形県新庄市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.4 ~

### 活動内容

#### ○現在の活動について

普段は、駅前賑わい拠点施設KOEnoKURAの運営に携わっています。様々な方と関わる上で、自分の知らなかったことをたくさん教えて頂けてとても嬉しいです。自分の強みを知って頂いて、イラスト・チラシデザインの依頼があり地域の方との繋がりや信頼が出来てきていると実感しているところです。



### 協力隊に応募したきっかけ

イラストやデザイン関係に興味があり、得意分野でもありました。それを活かして周りに発信することに挑戦してみたいと思っていました。そこで見つけたのが、『地域おこし協力隊』でした。また、もっと山形を知りたいと思い、よく訪れたことのある『大石田町』に決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

町のコミュニティスペースでもあるKOEnoKURAを町民にとって欠かせない存在に。大石田町民に『大石田』（ふるさと）を今よりもっと、好きなところ・自慢できるところを増やす活動・イベントをしていきたいです。

### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) koenokura@vesta.ocn.ne.jp

(電話番号) 0237-35-2111 (大石田町役場まちづくり推進課)  
0237-35-3036 (KOEnoKURA)

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

(instagram)

[https://www.instagram.com/tsuchiii\\_oishida214/?hl=ja](https://www.instagram.com/tsuchiii_oishida214/?hl=ja)

(Facebook)

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100065978952726>



### 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
高知県南国市  
【転出元】  
大阪府岸和田市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.4 ~

### 活動内容

#### ○現在の活動について

担当しているミッションが関係案内所の運営ということで、町民や近隣市町村の方とお話しする機会が多くあるが、方言や訛りで話が聞き取れないことが多々あり、申し訳ない気持ちがある。少しずつ名前や顔を覚えてもらえ、気軽に話しかけてくださる方が増えていることがとても嬉しく、達成感がある。



### 協力隊に応募したきっかけ

大学への進学を機に、転出地の大阪府で一人暮らしをしていたが、もっと人と関わる仕事や生活がしたい、と感じるようになり、転職と移住を決意。移住スカウトサービス「SMOUT」にて、地域おこし協力隊の募集特集を閲覧していた折、当時の希望に最も近いと感じた、大石田町の募集に応募。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) koenokura@vesta.ocn.ne.jp  
(電話番号) 0237-35-2111 (大石田町役場まちづくり推進課)  
0237-35-3036 (KOE no KURA)

### 今後の抱負・任期後の目標

運営中の「KOE no KURA」を今以上に、町民にとって馴染みのある施設にしていきたい。町民自身に「大石田町が好き、暮らしていて楽しい」と思ってもらえるように、イベントを開催したり、交流を深めていきたい。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
(Instagram)  
[https://www.instagram.com/oishida\\_doragon/?hl=ja](https://www.instagram.com/oishida_doragon/?hl=ja)  
(Twitter)  
[https://twitter.com/oishida\\_doragon](https://twitter.com/oishida_doragon)

### 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
熊本県玉名市  
【転出元】  
東京都世田谷区  
【前職】  
東京都公立中学校教員  
【活動時期】  
R1.5～R4.3  
(4年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

移住先を探していた際、飯豊町とご縁がある友人の紹介で町を訪れ、町の雰囲気や心地良さを感じ、移住を決意。自身の移住経験を活かし、移住定住コンシェルジュとして今後の移住希望者や地域の役に立てればと思い協力隊に応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

町内には人が集まる場所が限られている。移住当初より感じていたことであるが、今後は移住者や地域の人が集まれる、繋がれる場所を作っていきたい。さまざまな活動を通し、同じ思いを持つ仲間ができた。その仲間とともに地域の居場所を作る。

### 活動内容

#### ●雪囲い講習会・雪かき講習会開催

初めての雪国生活をする移住者にとって雪の生活は不安が多くある。そんな不安を取り除くためにも、雪かき講習会や雪囲い講習会を実施。助けを求められる繋がりもできた。



#### ●移住者交流会開催

少しずつ移住者が増えてきたが、移住者同士が繋がれる場所がなかった。移住者や地域の人と繋がりたいという移住者のニーズもあり、移住者交流会を企画。地域の方に笹巻作りを教わる体験交流会も開催し、地域の方との交流も生まれた。



#### ●移住フェア出展・移住希望者町内案内・空き家バンク

移住希望者の方のご希望に合わせてコーディネートし、町内を案内。空き家バンクの運営も実施しており、空き家バンク登録物件への問合せや内覧についても対応。移住時には部落長さんへのご挨拶への動向や移住後も定期的なご連絡で困り事はないか等のヒアリング。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [kazai999@town.iide.Yamagata.jp](mailto:kazai999@town.iide.Yamagata.jp)  
(電話番号) 0238-87-0521 企画課総合政策室

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

飯豊町地域おこし協力隊Instagram



### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
山口県下関市  
【転出元】  
東京都台東区  
【前職】  
個人事業主:全国各地にて  
民謡演奏, 民謡講師、普及  
企画  
【活動時期】  
R2.11 ~ R5.10

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍のなか仕事が激減して都心に家族で暮らすことに疲れを感じるようになり、地域おこし協力隊について市のホームページで知り、その自治体が妻の出身地だったから。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の皆様に楽しんでもらうための活動拠点を運営しながら、和楽器のスキルを活かして市民との交流を深めていき、退任後の定住につなげていきたい。

### 活動内容

#### ●市の移住・定住PR活動

市SNS等の活用, FMラジオの放送, 市内外イベントへの参加・運営など, 様々なチャンネルで市のPR活動を実施。また, 周辺地域(市外)の協力隊との交流を深め, 互いに協力しながら活動(いばらきEXPOなどのイベントや他地域の協力隊が活動する地域視察など)。



#### ●市内空き家の掘り起し, 空き家の利活用活動

民生委員や各町会の会議等や市内各地のイベントに参加し, 市民交流を通して空き家バンクへの登録(掘り起こし)を促進。

空き家の利活用として, 地域の活動拠点を作り, 市内外の方々や, 常陸太田市に定住させるための活動を中心に実施。



#### ●地域活性化

幼稚園や保育園で園児を対象に和楽器体験会を実施。地域の子供達に楽器の体験や演奏の実演を通して, 日本の音楽に触れてもらう活動を行った。

また, 公民館での定期的な和楽器の公開練習を行い, 市民交流を図る。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) kikaku3@city.hitachiota.lg.jp  
(電話番号) 0294-72-3111 (内線346)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
市協力隊SNS (Facebook)  
<https://www.facebook.com/hokyoryokutai>



### 基本情報



【年齢】  
46歳  
【出身地】  
栃木県 真岡市  
【転出元】  
東京都 港区  
【前職】  
ホテル勤務 営業職  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

前職のホテル勤務当時、コロナ禍の影響で東京営業所が閉鎖。本社（ホテルオークラ新潟）勤務を検討したが、おもいきって退職。営業職という、常に売上の数字を背負い、顧客にはオークラという期待値を超える演出をする日々は、やりがいがあったが仕事に追われる生活だった。「人生後半戦をどう生きたいか」を自問し、「人に関わりたい」「ワークライフバランスのとれた生活をしたい」ことに気づいた。退職後、以前より興味があった「地方創生」を学ぶなか、地元の同級生が高校生や大学生、大人と市が官民協働して「まちづくり」に励んでいることを知り、地元に興味をもつ。縁に導かれるように、地元の協力隊の応募を発見。自分がやりたいことと、一貫してサービス業に携わってきた経験が活かせる移住定住コーディネーターに興味をもち、応募に至る。

### 今後の抱負・任期後の目標

移住は人生の大きな決断である。移住相談者のお声をしっかりきき、ひとつひとつ解決していきながら、親身に対応していきたい。また移住前の相談だけでなく、移住後も同様に重要だと考える。会員制ラウンジ「moka no kurashi」の利用を促進し、移住者が真岡市に愛着をもってより良い暮らしができるよう、十分にサポートしていきたい。任期後は引き続き移住定住コーディネーターとして業務を希望。起業を予定している。

### 活動内容

#### ●移住定住コーディネーター業務

・移住相談者の相談窓口（対面やZOOM等）業務。生活、就業、子育て、住居など幅広い質問の窓口として親身に対応。また希望者には、生活に関した施設や希望する地域を市内案内し、真岡市の暮らしをイメージしていただく。  
・「移住フェア」「就職面接会」等に積極的に参加し、手厚いサポート支援を広くPRする。



#### ●会員制ラウンジ「moka no kurashi」開設

栃木県内初！移住者と移住を前向きに検討している方限定のオンラインコミュニティ。移住者に人間関係をつくってもらう、つながる場所。また移住検討者が先輩移住者とやりとりすることで、移住後のギャップをなくすことも目的。他にイベント情報や行政情報を発信することで「人と地域」をつなげ、移住者だけでなく交流もはかり、真岡でより良い生活をしてもらうことにもつなげる。



#### ●移住オンラインセミナー開催

自然が豊かで気候が比較的穏やか。そして生活の利便性がある真岡市。あわせて県内屈指の子育て支援があり、その成果の一つとして年少人口比率は県内3位。その点に注目し、子育て世代に興味や関心をもってもらうよう開催。真岡市で初開催！！今後もシリーズで続けていく予定。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

真岡市 総合政策部秘書広報課 シティプロモーション係  
(メールアドレス) city-pr@city.moka.lg.jp (電話番号) 0285-81-6947

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(地域おこし協力隊 Facebook・Instagram)



### 基本情報



【年齢】  
47歳  
【出身地】  
栃木県 真岡市  
【転出元】  
北海道 北見市  
【前職】  
地域おこし協力隊  
【活動時期】  
R3.9～R6.9  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東京では待機児童問題のため10年間働けず、地域おこし協力隊として東京を脱出しました。北見市で協力隊として活動していたころ、地元栃木県での地域おこしをしたい！との気持ちが大きくなり、下野市地域おこし協力隊として今回ご縁があり応募させていただきました。

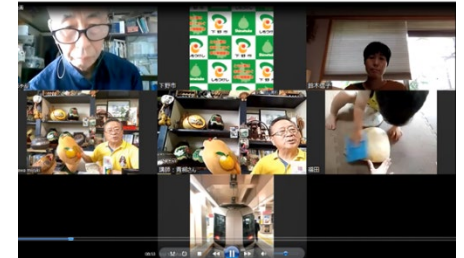
### 今後の抱負・任期後の目標

私のミッションは移住・定住促進、関係人口づくりなので、その点で下野市は電車、車の両方で東京からのアクセスも良く、自然豊かで医療も充実し、可能性が高い地域だと考えています。東京から北海道、更には下野市へと子連れで移住してきた自分の経験を活動に生かし、下野市を盛り上げていけたらと思っています。

### 活動内容

#### ●下野市オンライン交流会

本市の魅力をお伝えするため、定期的にオンライン交流会を開催しています。下野市の概要やプロモーション動画、特産品など下野市を知っていただく機会となればと思います。



#### ●しもつけ移住者交流会

移住をして終わりではなく、下野市でより日常生活が豊かになるように、移住者同士のつながりづくりや下野市の良さについて改めて感じていただくため、移住者交流会を開催しています。



#### ●移住者の声

移住検討中の方々の参考としてもらうために移住者の声を募集しています。聞き取った移住者の皆様からの声はシティープロモーションサイトにて掲載予定です。

#### 移住者の声大募集！

移住を考えている方々の参考にさせていただくために、あなたの移住経験談を聞かせてください。

入力フォーム↓



お礼に相品を差し上げます！

移住者応援下野市



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp](mailto:sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp)

(電話番号) 0285-32-8886 (下野市総合政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/2055/info-0000005661-1.html>

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
一般社団法人the  
Organic  
【活動時期】  
R3. 4～

### 協力隊に応募したきっかけ

- ・前職で小川町のまちづくりプロジェクトの事務局を担当していた。コロナ禍で現地に行けなかったが、自分もプレイヤーとして、町内の魅力的な人たちと関わりながら町を盛り上げたいと思ったから。
- ・元々田舎暮らしをしたいと思っていて、知り合いも増えてきた頃で、移住しやすさを感じたから。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・NESToとして取り組んでいる「循環」とキーワードとしたイベント等を開催していく中で、今まで交流してこなかった町内の人たちを繋げること。
- ・NESToに通う、多様な人たちが交流する場所や機会を作り、コミュニティを活性化させていくこと。

### 活動内容

#### ●コワーキングロビーNESToの受付・運營業務

新規会員登録受付、既存会員の利用受付、レンタルスペース利用時の対応、施設掃除など。



#### ●コワーキングロビーNESToを拠点としたコミュニティ作り

平日夜の仕事終わりのコンテンツとして、会員交流会やヨガイベントを企画・開催。コワーキング会員の交流の場作り。



#### ●地域関わり隊のイベント事業

石蔵NESToができるまでをテーマとしたトークイベント、親子ハイキング、しめ縄づくり、餅つきイベント、味噌づくりWSなどの開催。NESToの利用者を中心として、町内外の参加者に、小川町の地域資源を満喫できるイベントを企画・開催。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram [coworkinglobby\\_nesto](#)  
[shmesh\\_lisa](#)



### 基本情報



【年 齢】  
57歳  
【出身地】  
埼玉県川口市  
【転出元】  
埼玉県川口市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.1.1~

### 協力隊に応募したきっかけ

秩父のNPOにてメープルシロップの製造や限界集落サポートなどの活動していたのですが活動を通して秩父の魅力に惹かれて協力隊のことを聞き、応募を考えました。特に小鹿野町の協力隊は任期後の起業など自分のスタイルに合った活動ができ、より秩父に溶け込める活動ができることがポイントでした。前職がアウトドアメーカーでしたので、いずれは小鹿野でしかできない里山の自然を満喫していただける少人数キャンプ場の設立を考えています。地域の限界集落サポートに関しての内容も好条件でした。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は小鹿野町伊豆沢を拠点にしてキャンプ場、山椒・柚子の栽培を確立し、小鹿野の自然と里山保全をテーマに起業を目指します。山椒に関しては小鹿野地域ブランド化できればと考えています。地域おこし協力隊の活動を通して小鹿野町内外の方々との交流も育まれてきたので、色々な方々の橋渡しとして貢献できればと思っています。

### 活動内容

#### ●移住促進・関係人口創出活動

ワークショップ、イベントなどの企画、立案、準備運営作業、小鹿野町内でのお手伝い活動（イベント準備、開催協力など）、秩父地域での協力隊交流活動（イベント、ワークショップ参加など）

地域での活動としてワイナリーのお手伝いや柚子や山椒のワークショップの開催、町内在住の芸術家の方の個展開催の展示などのサポートをはじめ、小鹿野町外でのイベントなどへも精力的に参加させて頂いています。町内に関心のある大学生の卒論サポートなど多岐にわたり、町内外問わず活動させて頂いております。



#### ●キャンプ場設立準備活動

現在、町内伊豆沢にてキャンプ場開設の準備を行いながら、伊豆沢・飯田地区にて山椒、柚子の栽培を行っています。また、町内外の有志の方と柚子、山椒栽培をはじめ里山保全のグループ「小鹿野里山倶楽部」を立ち上げお手伝い頂いております。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0494-75-4197 (小鹿野町役場総合政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
facebook [個人](#)  
<https://www.facebook.com/sasaki.hitoshi.71/>  
[小鹿野里山倶楽部](#)  
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100083300044471>

### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
東京都国分寺市  
【転出元】  
東京都世田谷区  
【前職】  
大学院生  
【活動時期】  
R3.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

3年ほど前から大学の研究室で香取市の活性化に従事しており、募集のタイミングで市内の方から本制度についてご紹介をいただきました。この制度を活用することで自治体や市内の民間事業者等と連携し、様々な形で市の活性化に関する取り組みを行えと考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

東京からも比較的近く、コロナによる自然と共生した生活の需要の高まりによって香取市は今後さらに魅力的な地域になっていくと思います。そのような外部環境の変化を捉えつつ、市内の様々な方が連携するための結節点として地域おこし協力隊を位置づけ、新たな価値を生み出していきたいです。

### 活動内容

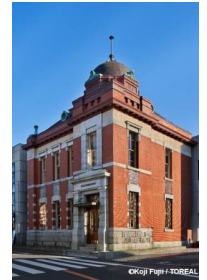
#### ●おためし地域おこし協力隊ツアー企画/実行

次世代の地域おこし協力隊候補の方向けに2泊3日でツアーを実施。大学生および大学院生を対象とすることで若年層の地域おこし候補者の発掘を行った。この活動を通して、自治体と地域おこし候補者のミスマッチの削減につなげる。



#### ●文化的施設へのIT導入支援

香取市佐原地域の代表的な建設物であり、観光資源としても知られる佐原三菱館において、音声ガイドの導入支援を行う。これにより人手不足でガイドができない状況を改善。



#### ●移住検討者向け農家ツアー

移住を検討する人向けに、主幹産業である農業の視点から香取市の魅力を伝えるべく、事業規模が様々な農家を回る農家ツアーを企画・実行。移住検討者への魅力発信と共に、生産者の後継ぎ不足の解消に向けてのマッチングを目指す。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [tenta.o@sawara-machinami.org](mailto:tenta.o@sawara-machinami.org)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.facebook.com/tentaokada>

### 基本情報



【年齢】  
38歳  
【出身地】  
中国吉林省  
【転出元】  
東京都北区  
【前職】  
医療通訳  
【活動時期】  
R4.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

神社・寺院巡りが好きで、友人の案内で香取神宮を訪ねたことがきっかけで佐原地区とご縁ができ、何度も訪ねるうちに、好きな着物が似合う街並みが大好きになりました。さらに香取市はじめ北総エリアの自然や歴史にも興味を持ってきたところで、地域おこし協力隊隊員募集を知り、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

香取市の歴史や文化を国内外へ発信していきたいと思っています。インバウンドの復活も期待できるので、具体的に企画して都内や海外から人を呼び込み、香取市ファンを増やし移住定住に繋げて参ります。さらには企業誘致なども積極的に取り組んでいきます。将来的には香取市や北総エリアの魅力を発信して、内外のネットワークで地域の活性化に繋げていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●地域PRイベント

香取市の魅力を多くの方に伝えるため、日ごろから様々な活動を行っています。最近では、JR東日本臨時列車「やまどり号」「特急あやめ祭り号」のお出迎えやお見送りに、ご当地ゆるキャラと共に参加させていただき、香取・佐原のおもてなしやPRをさせていただきました。



#### ●地元高校生を対象としたワークショップの開催

ユネスコ無形文化遺産にも登録されている佐原の大祭の際に、地元高校生向けのまちづくりのワークショップとして、高校生に浴衣の着付をして、大祭の来場者を対象とした扇子の絵付体験や休憩所としてのおもてなしなどを一緒に行いました。



#### ●空き店舗活用

市内の空き店舗活用促進として、都内で人気の飲食店（中華料理）を誘致。何度も香取・佐原をご案内して地元への愛着を持っていただき賃貸契約が成立しました。市内には本格的な中華料理店が少ないため伝統的な町並みと中華のコラボが楽しみです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

E-mail: sawara\_machi@yahoo.co.jp （電話番号） 0478-54-7766

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.facebook.com/katori.kyoryoku>



### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
新潟県新潟市  
【転出元】  
東京都品川区  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
H31.4～R5.3  
(4年目)  
【活動中断期間あり】

### 協力隊に応募したきっかけ

檜原村のお祭りに参加した際に村の方の家族のような温かさと繋がりに触れ、村に何度も遊びに行くうちに、村の方と村に貢献したいと考えるようになりました。その後、個人的に村の情報発信を行いました。個人でできることの限界を知り、協力隊という立場で村に貢献したいと考えたことがきっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後は女性限定のシェアハウスをオープンします。檜原村は空き家はたくさんありますが、なかなか賃貸として表に出ない、田舎暮らしをしたくても住む家がない状況です。また、お試し移住を試してみたいと思っても、できる場所がありません。私自身、村に移住し、村の方の優しさや住みやすさを体験し、私と同じように檜原村に住みたい人がいるのではと感じました。今回、シェアハウスをオープンし、村の方とのコミュニケーションや村での生活を味わい、移住者が増えると嬉しいです。また、檜原村も若い人が増えることでより生き生きとした村になること間違いなし！

### 活動内容

#### ●地域のお祭りに参加

9月は村内各地でお祭りがありました。獅子舞のササをやらせていただき、普段はできない伝統を経験させていただいたことをありがたく思います。昔から続くものを地元の小さな子どもからお年寄りの方まで協力して守っている姿が都心部にいると味わえない檜原村ならではの魅力だと感じました。



#### ●村内でのイベント企画

児童館で子どもたちとネイチャーゲームをさせていただいております。自然を使って自然の中で遊ぶゲーム。私より子どもたちの方が自然の楽しみ方を知っているなあと感じ、勉強になります。子どもたちと自然からパワーをたくさんもらい、エネルギーな秋になりそうです。



#### ●空き家の現地調査

隊員2名で空き家の調査をしています。持ち主の方へのご連絡を進めていますが、現状、村内で売り出される空き家は少なく、賃貸の空き家は、年に1・2件ほどしか出ません。この調査から空き家の賃貸・売買物件が沢山出て、村に住みたい人が村内に家を見つけ、人口増加に繋がると嬉しいです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [muradukuri@vill.hinohara.tokyo.jp](mailto:muradukuri@vill.hinohara.tokyo.jp)  
(電話番号) 042-519-9556

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(檜原村地域おこし協力隊Facebook)  
<https://www.facebook.com/hinohara.chioko.tokyo>

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
千葉県千葉市  
【転出元】  
千葉県山武郡横芝光町  
【前職】  
農業生産法人  
【活動時期】  
2020.11～

### 協力隊に応募したきっかけ

三宅島に行ったときに島民の方に話かけられて、三宅島には移住者が多いという話などを聞いて、自分も移住を決めました。なので、今度は私が誰かの移住のきっかけになりたいと思い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期が残り1年となるので、集大成となるような1年にしたいと思っています。また、任期終了後にどのように島で生きていくかも考えながら活動していきたいです。

### 活動内容

#### ● 島ぐらし体験事業のサポート

三宅村のお試し移住事業「島ぐらし体験事業」の開催時に、移住者だからこそわかる目線を大事にしつつ、サポートスタッフとして、全日程に参加しました。



#### ● オンラインの移住相談

コロナの影響で「島ぐらし体験事業」が2年半開催できませんでした。また、移動の制限もあって島外の方は来島しにくい状況でした。そのため、代替として家からでも参加できるオンラインの移住相談を行っています。



#### ● 移住定住イベントへの参加

三宅島単独での移住相談イベントや、全国の移住マッチングイベントに参加し、移住を考えている方々と直接話し、移住を促しました。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [welcome@island-miyake.tokyo](mailto:welcome@island-miyake.tokyo)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/welcome\\_miyake](https://twitter.com/welcome_miyake)

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
神奈川県真鶴町  
【転出元】  
神奈川県小田原市  
【前職】  
コミュニティカフェ店長  
【活動時期】  
R4.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

生まれも育ちも真鶴町ですが、進学を機に町外で生活していました。真鶴町へのUターンを意識したのは、メインの商店街で多くの店舗にシャッターが降りている光景を目にした時です。「このままでは故郷が無くなってしまう」という危機感を抱き、何かできないのかと模索している中で地域おこし協力隊の募集が目にとまりました。「自分の故郷を守りたい」という一心で、迷わず応募いたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

高校卒業後は調理師専門学校に進み、その後、300年の歴史がある京料理和食レストランで修行を積みました。その後、自分のやりたい方向が見つかり、機動力を活かすために独立し、コミュニティカフェの運営に携わってきました。地域のコミュニティづくりやマネジメントの経験を活かし、故郷である真鶴町を、再び活力ある希望溢れる町とするため、サテライトオフィスやワーカー誘致に全力を傾けて業務に取り組んでまいります。

### 活動内容

#### ●真鶴町の地域課題の把握・分析

サテライトオフィス誘致活動に向けて、行政や町内事業者など様々な立場の方々から地域課題をヒアリングしています。  
ヒアリングした課題をもとに、誘致すべきターゲット企業を選定し、誘致に向けてのアプローチを実施します。



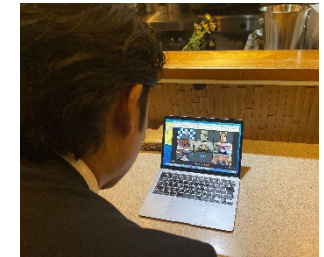
#### ●進出検討企業との商談

真鶴町に興味を持つ企業から、事業内容や真鶴町でやりたいことなどをヒアリングしています。  
ヒアリングの内容をもとに、連携出来る進出検討企業と調整し、真鶴町に視察に来ていただきます。



#### ●マッチングイベントの運営サポート

株式会社あわえや総務省が主催する、地方進出に興味がある企業とサテライトオフィスを誘致したい自治体とをマッチングするイベントがあります。マッチングイベントには真鶴町も出展するため、プレゼン日に向けて準備をしております。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Facebook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100085972556691>

Instagram [https://www.instagram.com/awae\\_manaduru/?hl=ja](https://www.instagram.com/awae_manaduru/?hl=ja)

facebook Instagram





### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
千葉県松戸市  
【転出元】  
新潟県新潟市中央区  
【前職】  
管理栄養士兼介護職員  
【活動時期】  
R3.9～ R5.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

燕の知り合いから勧められて応募があることを知ったことがきっかけです。  
自分自身もIターンで縁もゆかりもない土地に来た経験者なので、同じような人のサポートをし、移住定住につなげられたらと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

毎月行っている移住者交流会やSNSの発信などにより、燕市の魅力発信を頑張りたいと思っています。  
3年後についてはまだ未定ですが、新潟には住み続けたいと思っています。

### 活動内容

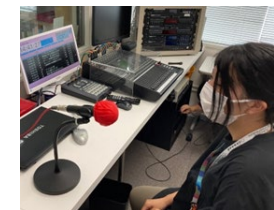
#### ●移住者交流会の運営

移住者の方を対象におおむね月1回程度、「移住者交流会」を実施しています。  
まち歩きやスポーツ体験のほか、管理栄養士の資格を活かしてご当地グルメをテーマにした料理教室を企画するなど、移住したみなさんの仲間づくりや、燕市のことをしてもらおうきっかけとしています。



#### ●コミュニティラジオ

毎週火曜のお昼に放送されるコミュニティラジオにおいて、協力隊がみた燕市のいいことや、イベント情報などを市民に届ける「ツバメビトチャンネル」の放送を担当しています。  
協力隊全員で分担して、取材から収録まで行っています。



#### ●移住ツアーアテンド

移住希望者の方を対象とした移住体験ツアー「ツバメビト移住ツアー」のアテンドをしています。実際に燕市内をアテンドし、不動産やスーパーや子育て支援施設、地場産業の見学などを通して移住後の暮らしをイメージしやすくしています。移住者交流会のメンバーとの面談の機会を設けることもあります。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) mizuki\_mori.r@city.tsubame.lg.jp  
(電話番号) 0256-77-8364

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram @tsubame\_chiikiokoshi



TSUBAME.CHIIKIOKOSHI

### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
福岡県北九州市  
【転出元】  
東京都港区  
【前職】  
消防士  
【活動時期】  
R4.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

きっかけは「葡萄農家」として新規就農をしたいと思ったことです。農業後継者不足も問題視される中、耕作放棄地の数も増加していることを知りました。低迷し続ける食料自給率問題の背景には、食事の内容が変わっただけではなく、根本的に次世代の農家が地域にいないこと。首都で働く若者が増えていることにあると思いました。まずは、地域おこし協力隊として、韮崎市が抱える潜在的な問題を解決し、地域貢献をした後で自分の目標を叶えたいと思いました。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在、韮崎市の関係人口創出に向けたプロジェクトを任されており、「韮崎ファン」の獲得に奔走しています。地域のリアルな情報が、市外の人達に手軽に届き「縁が生まれる」そんなコミュニケーションスペースを構築したいです。任期後は目標である、「農家」になることです。すでに、後継者に悩む農家さんとコンタクトしており、任期後円滑に農家へと転身したいと思います。「食を通じて健康を感じられる場所」をテーマに新しい農家の形を生み出します。

### 活動内容

#### ● encle～関係人口創出～

韮崎市の関係人口創出、つまり「ファン」の獲得に向けてencleが発足しました。名前の由来は「韮崎から円を拡げる、縁が来る」からきています。地域に隠れ潜む情報が実はニーズがあり、その情報を発信・結びつけるのがencleの担う役割になります。



#### ●コミュニケーションアプリ“Slack”の活用

encleでは、情報発信のツールとしてInstagramを活用していますが、「人と人を結びつける」機能としては不足しています。そこで、“Slack”を活用し「地元住民×情報が欲しい人」のコミュニケーションスペースを構築しました。



#### ●地域おこし協力隊によるツアーイベントの開催

そもそも韮崎市を知らない人が多数を占めるであろう、と思いツアーイベントを通して韮崎市を広報しました。地の食材を楽しんでもらえるツアーとして、ぶどうとワインに焦点を当て開催し、韮崎市に来たばかりだからこそ見える韮崎の魅力を案内しました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) <https://www.instagram.com/encle.nirasaki.city/>

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
愛知県名古屋市  
【転出元】  
長野県中野市  
【前職】  
宿泊施設のマネージャー  
【活動時期】  
R3.7～R6.3  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍の影響もあり、転職活動をしていたときに、転職サイトから地域おこし協力隊の募集のスカウトがきた

### 今後の抱負・任期後の目標

中野市内の空き家を発掘し、「ごったく市」などの古材や空家でいらなくなったものを集めたりサイクルショップの運営や移住体験施設の開設など、空き家利活用に取り組んでいきたい。  
空き家相談員として市から委託を受け、空き家対策業務を行う傍ら、空き家利活用施設の経営を行っていきたい。

### 活動内容

#### ●空き家相談所の開設

より多くの空き家相談を受け付けるため、土日祝日も運営している相談所を地元高校生とDIYをして、開設。空き家相談員として多くの空き家相談を受けている。



#### ●空き家バンクの運営

中野市独自の取り組みである100均空き家マッチングも含む空き家バンクの情報発信や購入希望者対応、所有者対応などを請け負っている



#### ●地元学生との空き家利活用ワークショップ

空き家の利活用事業をとおして、若者の地域活動促進を図っている。アイデア出しのワークショップ開催やDIYイベントを学生と行い、地域活動を行っていくための学生団体を組織中。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/akiya\\_nakano/](https://www.instagram.com/akiya_nakano/)  
(ブログ) <https://akiya-and-kurashi.com/>



### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
埼玉県鴻巣市  
【転出元】  
埼玉県さいたま市  
【前職】  
美容サロン  
【活動時期】  
R3.10～

### 協力隊に応募したきっかけ

夫の会社が倒産したことで、このまま東京に勤めることを続けるのか、それとも夢だった雪山の近くに住んで人生を豊かにするのか考えるきっかけがあったから。

転職ではなく協力隊を選んだのは、移住したあとも美容サロンを開きたいと思っていたので、地域に溶け込むことができると思ったことと、起業するに必要な移住先での需要があるか知りたかったことと、すでに移住し起業している方と話すことが出来れば定住の参考になると思ったから。

### 今後の抱負・任期後の目標

移住者の先輩として、移住したい方のサポートを継続していきたい。地元住民・移住者・移住希望者をつなぐパイプ役として活動していきたい。

また、退任後は美容サロンを開き、地方で起業したい人の参考になればと思っています。

### 活動内容

#### ●「移住相談」

県外での移住相談や・オンライン・メールなどの移住相談では、メリット・デメリットをお伝え。移住希望者・移住者・地元住民が参加できるLINEオープンチャット「長野県中野市移住つながルーム」を運営。気軽に相談ができる場所づくりも。



#### ●「移住交流会」

移住交流会は、移住者同士の交流会や移住希望者・移住者・地元住民の3者間で交流できる交流会を開催。移住者だけの交流会にしなかったのは、それぞれ必要な相手との出会いの場が増えればと思っています。



#### ●「移住体験ツアー」

自分の趣味でもあるウィンタースポーツを活かしながら、実際に住んでみたらどういった生活になるのかを体験してもらうためのイベントを開催。ウィンタースポーツを楽しみ、雪かき体験もあるイベント。今季も開催します。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(協力隊のInstagram・Facebook・Twitter)

### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
東京都墨田区  
【転出元】  
神奈川県藤沢市  
【現職】\*複業で兼務  
株式会社ADDRESS  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

塩尻には、着任前からプロボノで足を運ぶ機会があった。一見すると、どこにでもある普通の田舎という印象を受けたが、実際には、熱量高い個性豊かなプレイヤーがたくさん活動をしていることを知った。この町から「何か大きな“起こり”が生まれそうだな」というワクワク感と、その波に自分も当事者として関わりたいという想いが芽生えるようになった。また、本業（定額4.4万円で全国住み放題サービス）の事業と関係人口創出は、非常に結びつきが強いため、シナジー効果も生み出せるのではないかと可能性を感じ応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ①関係人口創出の先行事例をどんどん作っていく！
- ②地域の課題と伸び代を見つけていく！
- ③自分ごと化できる問題や課題を発見する！

### 活動内容

#### ●塩尻CxO Labプロジェクト

今期で3期目を迎える、地域課題解決実現に向けた関係人口オンラインコミュニティ「塩尻CxO Lab」の運営事務局を担当。CxO Lab参加者が、どのような体験や思考を経ていくことで、塩尻市との愛着や、そこからさらに地域の課題を自分ごと化させ、プレイヤーに変換できるかを設計。



#### ●「空き家」を活用した、関係人口創出プロジェクト

空き家再生の0→1プロセスって、色々な学びの要素が詰まっているのではないかと地域に居場所を求めている方が自ら汗をかいて居場所づくりをするって、今までの関係人口創出施策と、一味違う体験や繋がりを生み出せるのではないかとそんな仮説のもと、有志メンバー（ADDRESS会員、CxO Lab参加者）と株式会社ADDRESS社を巻き込みながら、始動。



#### ●IT技術を活用した自律分散型のコミュニティの立ち上げ

『塩尻CxO Lab』から生まれる、人の変化や成長、事業やプロジェクトの推進という価値をさらに加速/拡大することを目的として、この活動を持続可能なかつ、自律的に運営する組織形態や仕組みづくりを行なっています。プロジェクトの立ち上げにはCxO Labの有志メンバーがファウンダーとして入り、NFTなど技術導入を検討しながら、構想設計を行なっています。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100028181419876>

### 基本情報



【年齢】  
53歳  
【出身地】  
茨城県ひたちなか市  
【転出元】  
長野県諏訪市  
【前職】  
不動産販売営業  
【活動時期】  
R3.3～

### 協力隊に応募したきっかけ

前職で移住定住の業務に携わったことがあり、その経験が生かせると思ったのが、きっかけです。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、YouTube・ツイッター・ブログなどSNSを相互リンクさせて、より移住者のお役に立つ情報を立体的に発信していく予定です。

任期後は、SNSによる独立起業を考えています。

### 活動内容

#### ● YouTubeでの移住定住促進の情報発信

「森乃暮らしチャンネル」  
令和3年3月24日～動画投稿スタート。  
姫木平別荘地での実際の生活の様子を中心に、今まで330本以上の動画を公開しています。



#### ● ツイッターでの移住定住促進の情報発信

「森乃暮らし」（アカウント名）  
令和3年3月より、投稿スタート。  
姫木平別荘地の気温や雪の情報などを中心に、退任後の独立に関する情報なども発信しています。



#### ● 森乃暮らし移住相談室

別荘地への移住の相談を、自宅とオンライン（Zoom）を使って行っています。  
YouTubeを見た視聴者様からの申し込みがほとんどです。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（森乃暮らしチャンネル）  
<https://www.youtube.com/channel/UCN35zibiGTbLrFMY2wWrUWA>



### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
神奈川県茅ヶ崎市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
建設機械メーカー総務  
【活動時期】  
R3.3～R6.2  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

空き家や耕作放棄地など遊休資産であふれている地方の可能性に惹かれて地方移住を希望していたところ、仕事面やコミュニティ面での地方への導入として、協力隊制度を活用するのがベストだと判断し協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・長和町を、地方で「自分らしく暮らしたい、働きたい」と思っている若い世代に選ばれるようなフィールドにすること
- ・「空き家を手放したい地域の人」と「地方でやりたいことのある移住者」を有機的につなぐような仕組みをつくること
- ・上記のような目的で、まちづくり兼不動産会社を起業すること

### 活動内容

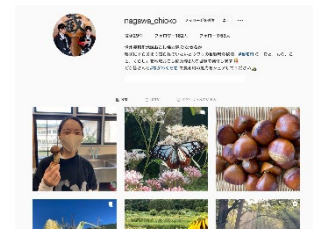
#### ●空き家バンクの運営・移住相談対応

空き家バンクの事務的な運営や、案内の対応、移住セミナーでの移住相談などを行っています。



#### ●InstagramやフェイスブックなどSNS情報発信

普段の協力隊の活動や町の行事や季節の移ろいなど、日常の情報を発信しています。



#### ●古民家DIYや農作業による関係人口作り

古民家DIYや自給用に始めた田んぼでイベントを開催することで参加者を募り、地域内外から人を呼んで関係人口作りをしています。興味のある移住者を呼んで移住者同士の交流会も兼ねています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @nagawa\_chioko

### 基本情報



【年齢】  
46歳  
【出身地】  
兵庫県神戸市  
【転出元】  
千葉県佐倉市  
【前職】  
銀行員、国内旅行添乗員、  
商社貿易事務、ショッピング  
モール営業事務（販促・  
広報）  
【活動時期】  
R2.4.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

国内旅行の添乗員を10年間経験する中で、地方の良さや魅力を知る機会がたくさんあった。いつか移住するなら北海道か長野と決めていた。

子どもが生まれてから自然豊かな環境で子育てをしたという思いが強まり、「田舎暮らし」のキーワードから協力隊制度を知って自分の個性や過去の添乗員経験も活動に活かせると思い、大好きな八ヶ岳エリア（原村）での募集があったので応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・協力隊として移住業務に関わる中で、まちづくりへの興味が深まってきている。これまでの活動と培ってきた人脈を活かし、引き続き原村のPRや活性化に携わりながら退任後も民間の立場から原村を盛り上げたい。
- ・空き家を活用したシェアハウス等の開業を検討中。
- ・退任後は地元企業に入って地域に定住予定。
- ・後輩隊員の相談対応やアドバイスをを行い、先輩としてできる限りサポートしていきたい。

### 活動内容

#### ●カフェでの移住相談対応、移住体験イベントの企画運営など

村内の観光施設 八ヶ岳自然文化園にあるレストラン デリ&カフェ「K」にて、簡単な観光案内を含めた移住相談対応を行う。移住推進機関等が主催するイベントや、村主催の協力隊募集説明会にも相談対応スタッフとして参加。

令和4年度は初の試みとして、協力隊が参加者をおもてなしする移住体験イベントを企画・運営。また、移住ガイドブックのリニューアルに伴い、取材先の選定・同行や編集調整などを行った。



#### ●イベントを通じた原村のPR活動など

任期中に活動費で取得した資格（キャンプインストラクターやネイチャーゲームリーダー等）を活かし、村内小学生向けの野外活動講座で講師を務めたり、観光客向け自然体験イベントを企画・運営し、イベントを通じて村の豊かな自然環境の魅力PRを行う。

令和4年度は地元新聞社とのコラボ企画で村の魅力を掲載した折込み紙面作成のため、取材・編集に関わる。



#### ●SNSや広報誌等での情報発信

自らの提案で、任期2年目より毎月村の広報誌で移住者家族の紹介ページを連載。取材・編集までを自分で行い、これまでに20家族を紹介。

現役隊員4人で運営するSNSでは原村の暮らしや移住に関する情報発信を担当し、インスタグラムのフォロワーは3600名を超える。



### 連絡先

#### 【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス：kurasu@vill.hara.lg.jp

電話番号：原村役場 商工観光課 田舎暮らし推進係 0266-75-0669

#### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

インスタ：https://www.instagram.com/haramura\_nagano/

FB：https://www.facebook.com/haramura.chioko

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
千葉県 船橋市  
【転出元】  
東京都 国立市  
【前職】  
精神障害者の支援  
【活動時期】  
R3.4~R6.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

30歳という節目にコロナウィルス感染症が流行したのがきっかけで、以前から興味があった山間で田舎暮らしをしようと思ったから。畑をやって旬のものを自分が食べる分は作ってみたいと思ったので畑ができる場所と山間であること、交通の便がいいところを探し筑北村を選びました。

### 今後の抱負・任期後の目標

#### 【任期中】

- ・現在ハーブを栽培から製品化までしているので、製品のブラッシュアップと販路を広げ製品を通じ筑北村の豊かな自然をPRしていきたい。
- ・村の若い世代が筑北村は活気があり楽しいと思えるようなイベントなどを企画して活気づけていきたい。

#### 【任期後】

- ・まだ就職をするか迷っているが、ハーブをやりながら高齢者支援を個人でできるように自立していきたい。

### 活動内容

#### ●イベント企画

- ・ちくほく交流会  
移住者や地元の方と餅つきなどを行い地域に移住者が溶け込めるようなイベント。
- ・朝さんぼ  
毎月筑北村の中を歩き車などでは見落としがちな地域の魅力の再発見や出会いの場として開催。
- ・学生向けのイベント  
夏休みなど遊ぶ場がないという話を聞くのでバスボムづくりなどのイベントを企画・運営。



バスボム自由研究



朝さんぼ



フェザースティック  
を作りキャンプ飯

#### ●遊休農地を活用したハーブの栽培

畑の管理が難しいという事や野菜などの作物が鳥獣被害に遭う事を村民の方から聞くため、遊休農地でハーブの栽培を始めた。比較的栽培しやすいため地域の方にも広めていきたい。また、筑北の松を使ったお茶も開発中。ハーブの製品を通じて筑北村を知ってもらおうきっかけとしていきたい。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- ・フェイスブック：<https://www.facebook.com/chikuhokuchiikiokoshikt>
- ・Instagram：[https://www.instagram.com/chikuhoku\\_nagano/](https://www.instagram.com/chikuhoku_nagano/)



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
兵庫県丹波篠山市  
【転出元】  
神奈川県鎌倉市  
【前職】  
Web広告代理店アカウント  
マネージャー  
【活動時期】  
R1.6～R5.3  
(4年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

仕事で東京に住むことになったが環境を好きになれず、週末ごとに、山梨や長野に出かけているうちに、40歳ごろを目標に長野県内の移住を考えるようになる。鎌倉にプチ移住して暮らしているときに、友人に野尻湖を勧められ、信濃町へ足を運んだところ、自然環境が理想的だった。信濃町の情報を調べると、たまたま信濃町の協力隊の募集ページが目にとまり、業務内容が私の経験を生かせるものだったことから、移住時期を早めることを決意し、応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

信濃町で起業できるよう準備を進めていきたい。任期後は起業して、属性が異なる人びと（子どもとお年寄り、旅行者と住民、日本人と外国人）が交流できる場をつくりたい。最終的には町内で雇用を生み出せるようになりたい。

### 活動内容

#### ●雪の中の移住者交流会

町内に移住者した方、移住を検討している方を集めて交流会を企画・実施。スノーシュー体験と、雪上バーベキューを行って、参加者同士に交流を深めていただいた。参加者12人、そのうち移住者は9人、移住検討者は3人だった。



#### ●富が原地区記念誌作成

町内の富が原地区の70周年記念誌の制作を依頼していただき、住民のインタビューなどコンテンツの作成から各ページデザインまですべて担当。



#### ●移住ガイドブック作成

移住者目線で、移住ガイドブック作成。企画、コンテンツ作成、デザイナーとの調整等を一人で行って、冊子を作成。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
twitter.com/ycc\_nagano  
kikaku@town.shinano.lg.jp

### 基本情報



【年 齢】  
59歳  
【出身地】  
愛知県豊田市  
【転出元】  
愛知県豊田市  
【前 職】  
カフェ営業  
税関  
【活動時期】  
R4.6～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

前職の税関職員として33年間の在職中に、二度静岡県で勤務する機会がありましたが、引っ越しを伴う最初の転勤が浜松市、そして在職最後の転勤が静岡空港のある牧之原市と、静岡県で始まり静岡県で終わるといふ、静岡県には不思議な縁を感じておりましたので、そのお世話になった大好きな静岡県で何か恩返しができないかと考えるようになりました。そろそろ人生も後半戦に差しかかり、何かで地域のために恩返し（社会貢献）できたらと思っていましたが、本格的な田舎暮らしではなく、都会とのアクセスもよくインフラも整備された「ほどよい田舎」での生活を希望していたところ、海と山に囲まれ自然も豊富で、趣味のサーフィンも出来そうな伊東市が地域おこし協力隊を募集していることを知り応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

色々なところへ積極的に足を運び、出来るだけ多くの人と会って交流を深めたいです。その中で、年齢を問わず伊東で人生を楽しんでいる魅力的な人達と一緒に活動し発信を続け、「伊東には何やら楽しそうな人がたくさんいるぞ」という点が拡散すれば、伊東ファン（関係人口）の増加にも貢献できるのではないかと考えています。シークラス作家としても活動していますので、シークラスや、流木、マイクロプラスチックなどのゴミを使ってアート作品を作る子供向けのワークショップを開催したり、大好きな海を守るためにビーチクリーンを中心とした環境活動にも力を入れ、伊東市が「自然に優しいまち」「SDGsにも配慮しているまち」であることを積極的に発信し続けです。

### 活動内容

#### ●移住定住特設サイトでの情報発信

伊東市の移住定住促進の情報に特化したホームページ「伊東市移住定住サイト」の情報更新をしています。具体的には、移住相談会や移住体験ツアー等のイベント情報の更新のほか、自分が伊東市内で体験したことのコラムの更新等を行っています。



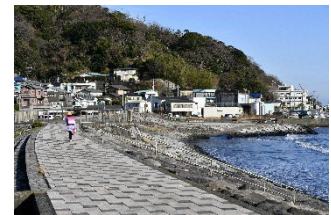
#### ●移住相談対応

市役所窓口や電話、メールで寄せられる移住相談の対応をしています。また、定期的に東京都内で行われる移住相談会や移住セミナーにおいても、移住検討者の相談対応をしています。



#### ●移住イベントの企画・運営

移住体験ツアーの企画・運営をします。移住を検討者されている方に対して、より具体的に伊東市での生活をイメージできるようなツアーを企画するとともに、先輩移住者との交流の機会も設けて、人と人との繋がりづくりにも力を入れています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram : @glassmans

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
静岡県静岡市  
【転出元】  
東京都板橋区  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.8.5～R6.8.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

以前より、将来的に農業に携わりたいと思っていたことと、コロナ禍で今まで過ごしていた日常が失われ、改めて自分の人生をどのように過ごしたいか考えたことが大きかったと思います。

地元の静岡に戻ることを決めてから、手段として地域おこし協力隊を知り、Webの情報（JOIN）や元協力隊員のブログやSNS、clubhouseを通じて実際に現隊員の方とお話させていただき、情報を収集しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

卒業後の抱負はレモン農家になり、掛川市へ定住することだが、土地の借用や大型農作業機械の購入など、一人では対応できない課題があることから、地元で耕作放棄地を活用する女性グループと出会い、農作業を手伝い、地元住民と交流しつつ機械と畑を借用してもらうなどして、農業をミニマムスタートさせた。

### 活動内容

#### ●活動内容：市民みんなでシティプロモーション「掛川写真サークル」

一人では活動範囲や時間には限りがあるため、市民を巻き込み、写真で掛川市をシティプロモーションをしつつ撮影技術の向上や他感性との交流を行う写真サークルを立ち上げた。

活動頻度：月に1度



#### ●活動内容：まち歩き謎解き実証実験「掛川百鬼夜行」

市で推進しているまちなかウォークアブルと謎解きイベントの親和性が高いと考え、掛川版ハロウィンイベント「掛川百鬼夜行」にてまち歩き謎解き企画を実施。掛川市のことを知ってもらう問題の作問も行った。



#### ●活動内容：ボードゲームでのコミュニティスペースの運営「掛川ゲーム部（オフライン会）」

主に掛川市民の高校生～40代のメンバーが月に1～2回集いボードゲームで交流するコミュニティスペースを運営。オンライン・オフラインを含め71名のメンバーが加入。他世代・他業種との交流により、新たな試みやコラボレーションが生まれている。※協力隊活動に繋がる活動



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
Instagram・Twitter @iitoco.kakegawa





### 基本情報



【年 齢】  
24歳  
【出身地】  
東京都八王子市  
【転出元】  
東京都八王子市  
【前 職】  
会社員・職業訓練校  
【活動時期】  
R4.10～ R6.10  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

地方での暮らしに興味があり、地域おこし協力隊に応募しました。藤枝市を選んだ理由は、「ほどよく都会、ほどよく田舎」というキャッチフレーズと、藤枝市の人に惹かれたからです。また、以前より、デザインにかかわる仕事をしたいという思いがあり、挑戦してみたいことにぴったりな仕事の募集が藤枝市であったので応募させていただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

藤枝市に引っ越して、率直に感じることは、人のあたたかさです。自分が率直に感じている藤枝の良さを様々な方法で発信していきたいです。また、ミッションであるふるさと納税の魅力アップにも精力的に取り組んでまいりたいと思います。任期後は、フリーランスとして、デザインや、ライター、職業訓練校の時に学んだWebデザインを仕事にしていきたいと思います。

### 活動内容

#### ●地場産品の訴求力向上に向けた取組み

ふるさと納税返礼品でも大人気のいちご農家さんにお邪魔し、写真撮影を行いました。大きなビニールハウスを目の前にし、圧倒されました。冷凍イチゴを使ったメニューを提供していただき、イチゴが旬でない時期でも様々な楽しみ方をお伝えできるようにして参ります。



#### ●地元店舗の取材に同行

若い女性の視点をまちづくりに活かすプロジェクト『ふじえだガールズミーティング』の取材企画に同行しました。藤枝発祥の朝ラーメンのお店やオーガニックレストランに伺いました。これから自分の知らない藤枝を発見し、たくさんの取材をしていきたいです。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
今後作成いたします

### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
埼玉県 さいたま市  
【転出元】  
埼玉県 さいたま市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.10.1～

### 活動内容

#### ● 移住相談への相談対応

移住者目線で移住希望者への相談対応や、首都圏移住相談会などへの出展・対応、現地案内を行っています。

#### ● 移住に関する情報発信

自分も移住者であるため移住者目線で下田の生活、魅力、移住相談会情報など移住希望者に有益な情報をInstagramを通じて発信していきます。

#### ● 移住後のフォローや移住者ネットワーク支援

移住した方の移住後のフォローや移住者ネットワーク構築できるようなイベントの企画や新たな取組を考えて地元と移住者を繋ぐ役割を担っていきます。

### 協力隊に応募したきっかけ

今まで会社員をしていて移住後は起業したいなと思っていたところ、交通会館のふるさと回帰支援センターで協力隊について教えてもらったことをきっかけに興味がありました。地域のことを深く知ることもできますし、任期も決まっているので準備する期間がとれると思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは1年目ということもありますので、下田を知るためにも地域行事に参加したり、地域の方々や先輩移住者の方々と積極的にコミュニケーションをとっていきたく思います。自然や街並みなど下田市の魅力的なところをSNSなどで発信して、移住のきっかけづくりをしていきたいと思えます。

任期後はカレー屋を始めたいので間借りできる場所を探しています。

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



[https://www.instagram.com/shimodashi\\_nozoe](https://www.instagram.com/shimodashi_nozoe)



### 基本情報



【年 齢】  
36歳  
【出身地】  
大阪府 高槻市  
【転出元】  
静岡県 袋井市  
【前 職】  
大工、造園  
【活動時期】  
R3.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな環境で暮らし、子育てをしたいと、たくさんの市町を訪れた中、森町に出会い、この自然環境や温かい地域に魅力を感じ家族で移住を決めました。役場の方に募集を教えていただき、この町や地域のために、自分たちのやりたいことがいかなるのではと思い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

この町にある、空家、自然などの資源を掘り起こし、それらを守り、いかした魅力ある地域、住みたいまちづくりに取り組んでいきたいです。課題を魅力に変えて、町や地域の未来を育ていけるチカラになっていけたらと思います。

ゆくゆく、この地域の豊かな自然を楽しみ、学び、味わえる場、暮らしの体験ができるような小さな農園レストランと宿を開きたいと思っています。

### 活動内容

#### ● 田んぼの活用・交流の場づくり

地域で空いてしまう田んぼを活用したお米作りを通して、地域の方や、移住者、移住希望者、子供から大人までいろいろな方が、体験、交流できるような場づくりに取り組んでいます。

(稲刈り交流会の様子)



#### ● 空家の掘り起こしと活用、移住の支援

役場や地域の方と連携し、地域ごとに空家の実態調査、掘り起こしをし、移住希望の方と物件や地域をつなぐお手伝いをしています。

(空き家を活用した先輩移住者のお宅に、移住希望の方を案内している様子)



#### ● 地域の賑わい作り

閉校になってしまった地域の小学校に「もう一度にぎわいを」と、地域の方と一緒に、春にたくさんのこいのぼりを上げたり、校庭での盆踊り大会を計画し、練習にも取り組んでいます。

(地域で集めたこいのぼりが校庭に揚がった様子)



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(facebook & instagram)





### 基本情報



【年齢】

61歳

【出身地】

埼玉県川口市

【転出元】

東京都世田谷区

【前職】

流通コンサルを20年行った後、設計事務所（大手デベロッパー依頼による集合住宅のデザイン監修業務）にて役員を10年余り、その後伝統工芸の織元の広報を1年半経験。

【活動時期】

令和元年.11.1～

### 協力隊に応募したきっかけ

伊勢路を歩いたことをきっかけに東紀州の自然や人の豊かさに魅了され移住を考え始めました。

生業を作り出すには地域を知ることから始めたいと考えていた矢先に協力隊の募集を知り、年齢的なこともあり躊躇しましたがダメ元覚悟で応募させていただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

知れば知るほど、尾鷲という地域での暮らしは発見の連続で、都会では味わえない生活の豊かさを実感しています。任期後は、古道歩きや旅として訪れた方達がこの地域で暮らすことを1つの選択肢としていただけるような施設やアクティビティを提供したく、現在住まいのある三木里町で、地域の方のご協力により、施設を提供いただき施設開設に向けて準備中です。

### 活動内容

#### ●空き家バンク業務

定住移住コンシェルジュとして、空き家となっていた元森林組合事務所を拠点に4名のチームで市役所の政策調整課と連携し、市内全域の空き家の発掘と利用者への紹介を行なっています。自ら移住者としてこの地で暮らす経験も役立て新しい人の流れを作っています。



#### ●仕事バンク業務

移住交流サイト「SMOUT」を活用し、地域での就業につながる情報発信を行っています。長く快適にお住まい頂くために、住まいだけでなく生活の基盤となるお仕事や地域での人のつながりもご案内できたらと考えています。



#### ●情報発信業務

尾鷲の魅力や地域の歴史的文化行事などをメディアやSNSを活用して広く情報発信すると共に、定住移住イベントへの参加や各種パンフレットを作成し尾鷲での暮らしの豊かさを情報発信しています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

HP : <http://owasegurashi.xsrv.jp/>



### 基本情報



【年 齢】  
29歳  
【出身地】  
三重県松阪市  
【転出元】  
三重県松阪市  
【前 職】  
旅行カウンター  
【活動時期】  
R4.6～ R7.5  
1年目

### 協力隊に応募したきっかけ

4年程旅行業に携わっておりましたがコロナ禍で売り上げも低迷し、閉店と同時に、現地で地域や人に関わり、まちの為に何かしたいという思いをずっと抱えていたこともあり、協力隊に興味を持ちました。尾鷲には何度か訪れていましたが、初めて九鬼にたどり着いたことがキッカケで憑りつかれるように毎週尾鷲を訪れるようになり、その中で尾鷲に関わる人たちや、尾鷲で生きる人たちがみんな生き生きとしているのが印象的で、私もここで生きてみたい、地域の為に何かしたいと思い応募いたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期後についてはまだ何も考えられていませんが、焦らず協力隊である3年間は尾鷲を巡り、色んなイベントや行事に参加し体感していきたいと思えます。また、今尾鷲で生きる人たちと出会い関り繋がって、「尾鷲」というまちの良さや文化などを深く知り、外の人たちに伝えていけるような知識をつけ、情報発信をしていきたいと思えます。

### 活動内容

#### ●空き家バンク

市からの委託業務として、空き家の調査、登録、紹介、空き家を所有する人と利用されたい人のマッチングサービス等を行っております。また、空き家の内覧ツアーも今後実施予定。雨量の多い尾鷲ならではの家の造りや地域の歴史、文化、暮らしを感じられるイベントの企画を考えています。



#### ●仕事バンク

尾鷲に移住希望の方や、尾鷲ならではの仕事に興味を持たれた方への仕事紹介。SMOUTへの情報掲載などを行っております。職場見学などで訪れて下さった方には、尾鷲市内の空き家もご紹介。東紀州圏内の観光案内なども行っております。



#### ●イベント

- |                                  |          |      |
|----------------------------------|----------|------|
| <input type="checkbox"/> R.4.6月  | 移住者交流会   | 実施   |
| <input type="checkbox"/> R.4.8月  | 音楽イベント   | 実施   |
| <input type="checkbox"/> R.4.12月 | 九鬼案内イベント | 実施予定 |



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0597-37-4010 (おわせ暮らしサポートセンター)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Facebook) <https://www.facebook.com/owaseiju/>

### 基本情報



【年 齢】  
44歳  
【出身地】  
兵庫県神戸市  
【転出元】  
兵庫県神戸市  
【前 職】  
アパレル製品製造販売の  
自営業、イベント企画運営  
等  
【活動時期】  
R4. 3～ R7.3予定  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

利便性や効率だけを目指した都会の中での生活よりも、毎日自分が口にする食事はどこから来ているのか、生活の原点を知りたいと年々意識する様になりました。  
漁業や農業など、第一産業が身近に感じられる場所で、また自然豊かな土地で暮らすライフスタイルを送るにはどのような形で仕事をしていけるか模索している中で尾鷲市の地域おこし協力隊に出会い、応募させていただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地元の方が当たり前だと思う地域の魅力や価値を見出し、イベントの企画や商品化などを具現化していきたいと考えます。また空き家バンクの運用を通して、居住としての活用以外の利活用(例えばイベントスペースとして使う等)も視野に入れています。定住移住コンシェルジュとしては、移住希望者へのサポートにも力を入れ、尾鷲で暮らす地元の方と移住者の方々、また他府県の方々と繋げて、関係人口の輪を広げていく活動を目指しています。

### 活動内容

#### ●甘夏収穫体験と移住者交流会

##### 【尾鷲市内の活動】

既存移住者のニーズを調査・サポートの目的と、地域の方々との交流作りを目的に、イベントを企画運営。  
尾鷲の特産品である甘夏の周知もでき、好評でした。



#### ●イベント出展、レシピ開発

##### 【県外での活動】

他府県主催のイベントに出展して、尾鷲の魅力の周知・PR活動。  
事例) 福井県高浜市のイベント「USFESS」に出展。  
尾鷲の特産品である甘夏を使った甘夏スカッシュレシピを開発、販売を実施。



#### ●音楽イベント

##### 【尾鷲市内の活動】

尾鷲での暮らしをより豊かに過ごす為に、音楽や芸術を普及する目的で活動。  
事例) 重要文化財である土井見世邸で民族音楽イベントを企画運営。アンケートを取り、文化・芸術のニーズが予想以上にある事が分かりました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/owaseiju>



### 基本情報



【年 齢】  
42歳  
【出身地】  
広島県  
【転出元】  
愛知県長久手市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.4～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな場所で、「暮らし」を重視した生活をしたいと考え移住先を検討する中、おためし地域おこし協力隊に参加。そこで出会った方々の生き生きとした姿に感動し、一緒に働きたいと思い応募。

衣・食・住を地域コミュニティで自給したいと思いから、  
食：農に重要な、きれいな水・土地があること  
住：空き家活用という仕事にかかわること  
目指したい「暮らし」が実現できるとおもい、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

豊かな農的な暮らしのモデルケースとして、  
自給農や、味噌・醤油作りのワークショップ開催予定。

今後は、移住のハードルを下げるお困りごと相談所、移住の窓口となりたい。  
移住希望者に空き家の紹介と合わせて、実際の暮らしで必要な、地域の仕事や、コミュニティ（移住者との交流会）の紹介をし地域の魅力を伝え移住につなげたい。

### 活動内容

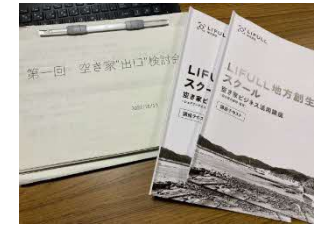
#### ●自給農 活動

移住してすぐに、近所で800㎡ほど借りることができ大豆をメインに、夏野菜、秋野菜を栽培中。  
地域の松明祭りで使用する菜の花から、なたね油を作れないか、商品化も含め検討中。  
冬には、大豆から醤油、味噌作りのワークショップ開催予定。



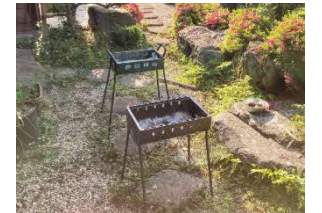
#### ●空き家出口検討会

空き家バンクの条件の良い空き家は利用希望者に購入されていくが、条件の悪い空き家は流通せず残っていくのが現状。  
少しでも、活用の可能性が上がるように、月1回の検討会を実施。課題・対策の検討。順次、対策実行までを進めていきたい。



#### ●移住者 交流会

月1回、地域の先輩移住者や新移住者でゆったりした4～10名程度の交流会を開催。  
移住者同士がつながることで、より暮らしやすく、土地の新しい魅力を発見したり、暮らしの困りごとを気軽に相談できるイベントを場を作っています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
恋する空き家プロジェクトHP <https://koisuru-akiya.com>  
SNS:<https://www.facebook.com/tatsuro.ishizaki.1/>



### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
愛知県日進市  
【転出元】  
愛知県日進市  
【前職】  
教員・福祉職員  
【活動時期】  
R4.4～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

自分自身が心身のバランスを崩した際、田舎の自然の中での暮らしや移住によって日常を変化させることが心の回復につながった。その経験から、都会で行き詰った人たちや生きづらさを抱える子どもたちの生き方の選択肢を増やせる存在になりたいと考えた。田舎では空き家の問題や人口減少も深刻だと知った。空き家という小さな空間を活用して、社会の大きな枠とは違う拠点をもって人とかわりたいたいと考えた。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域に1000ほどあるという空き家を、地域を回りながら発掘したい。移住者の入り口や相談役となり、地域や空き家とのマッチングができるようになりたい。その一例として自分自身も空き家を魅力的な空間によみがえらせて、古い家を活用する魅力を発信したい。休職時のキャリアブレイクとして長期滞在可能な機能や、不登校等さまざまな背景をもつ子どもたちの生活拠点/サードプレイスとなる居場所づくりをしたい。

### 活動内容

#### ●空き家バンクでの業務

まいばら空き家対策研究会の業務の中で、①移住者を逃さない仕組みづくり②登録物件を増やす③流通していない物件を動かすという課題を見つけ、これからの活動の柱に定めた。③については動きの少ない物件を課題ごとに分類し、どうしたら流通するようになるのか出口検討会を始めることができた。



#### ●空き家活用に向けたDIY技術の習得

空き家をDIYでリノベーションした事例を見学したり、実際に工具を使ってDIYの技術を学んでいる。古民家再生協会によるDIY教室にも参加し、見違えるように変化する古民家の魅力を実感している。自分自身の拠点整備含め、ポロポロで活用が進まなかった空き家の活用の幅が広がるようにしていきたい。



#### ●場づくりの準備

市の学校連携マネージャー・社会福祉協議会・地域にある子どもの居場所の運営者と話し、実際に地域の課題や子どもと触れ合う機会をもらった。参考にしたい地域外のコミュニティも見に行き考えている最中。自分の拠点で取り入れたい要素について知識を得たり、技術習得するために勉強中。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
恋する空き家プロジェクトHP <https://koisuru-akiya.com>



### 基本情報



【年 齢】  
41歳  
【出身地】  
京都府京都市  
【転出元】  
京都府京都市  
【前 職】  
自営業  
【活動時期】  
R3.9～ R6.8  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大宮南地域でのイベントをきっかけに、イベントのリピートや個人的に何度か訪問するうちになじみの地域になりました。地域の方の飾らない普段のおもてなし、何気ない自然、昔ながらの町並みに癒され、また来たいという気持ちになりました。

その経験を元に、地域の人と訪れる人との交流が知りたい、既にある地域ならではの魅力を掘り起こし、場所づくりやコミュニティづくり、それらの発信をしていきたいです。

### 今後の抱負・任期後の目標

建築やDIY、古物の経験を活かして地域にあるものや古いものを活かし、余計な手をかけずに空家を居心地の良い空間に変えるお手伝いをしたいです。また、昔から住んでいる人、移住した人、訪れた人の垣根をなくし、誰にとっても愛着のある地域になる仕組みづくりをしたいです。

### 活動内容

#### ● 区長協議会と連携

大宮町区長協議会と連携して、各区の意見交換をしながら、広域で空き家の現状を把握し、活用を模索しています。

区長向けにアンケートを取り、各地域の空き家の実態や移住に関する意向を確認しています。



#### ● 移住促進

地域の方と空き家の情報を共有し、具体的にどう活用していくかを考えたり、地域を案内するツアーを企画したり、活動2年目になり地域の方と仲良くなったから得られる情報も増え、話し合いができていと感じています。

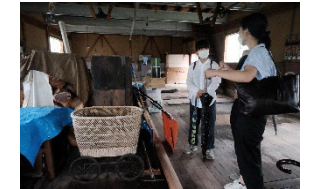


#### ● 空き家の古物をリサイクル

古物商の方と繋がり、空き家で不要なものを次につなげる動きを始めました。

空き家や物を通して、その家や人の歴史が知れて面白いです。

廃材を使って空き家の改修など、地域で循環していきたいです。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [omiya-shimin@city.kyotango.lg.jp](mailto:omiya-shimin@city.kyotango.lg.jp)  
(電話番号) 0772-69-0712



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
京都府京都市  
【転出元】  
京都府京都市  
【前職】  
自営業  
(鍼灸院・カフェ経営)  
【活動時期】  
R3.9～ R4.9  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災のボランティアを機に、自然と人が繋がる暮らし方に関心を持ち、私たちが未来に伝え残す地球の在り方をこの10年模索していました。そんな中、偶然に京北町で出会った京丹後在住の方の勧めで地域おこし協力隊を知り、すぐに現地訪問し応募を決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

R4.9.30をもって退職

### 活動内容

#### ●地域運営手作りマーケットの運営支援

過疎・高齢化が進む宇川地区において地域内唯一のスーパーが撤退したことを受け、買い物場所がなくなることに不安を感じる住民を救うため、自治会等が主体的に、他地域で移動販売事業を行う事業者と直談判し、地域に週1回のルートを誘致したほか、手作りマーケット「宇川金曜日」を開始した。

宇川地域が主体的に取り組む買い物支援対策と一緒に取り組んでいる。

#### 手作りマーケット「宇川金曜日」



#### 移動販売事業



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
FaceBook 前川典代 (個人的な発信です)

### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
兵庫県豊岡市  
【転出元】  
兵庫県神戸市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.1～ R6.12  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

地元但東町の隣にある久美浜町は、以前からよく訪れていました。佐濃地域の田んぼや畑に囲まれた長閑な雰囲気は地元と似ていますが、近くに久美浜湾や海がある久美浜に魅力を感じました。

地域おこし協力隊のミッションは、移住定住促進という今までに関わったことがない職種ですが、私が移住したいと思った久美浜の魅力をもっと知る機会になるだろう、新しいことを始められるきっかけにもなるかもしれないと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

都会に住む人がここを何度も訪れたい、ここに住みたいと思える地域の魅力を発信し、子どもから大人まで楽しく暮らせる元気なまちにしたいです。

令和4年1月からの活動であり、現状は地域の状況把握と課題の抽出中であるが、現在までの成果としてはSNS等による地域内の情報発信を行い、地域の魅力を発信することができた。今後は地域の課題解決に向けた様々な取り組みを行い、今後の活動を展開したい。

### 活動内容

#### ●佐濃地域の地域資源の活用及び移住・定住促進に向けた移住ツアーなどの企画・実行

- ・佐濃地域U・Iターン計画の策定
- ・佐濃地域へのU・Iターン者への聞き取り調査と課題整理、交流会と情報発信
- ・食などの体験活動を取り入れたU・Iターンツアー
- ・体験ツアー参加者とU・Iターン住民との交流
- ・お試し住宅の確保と移住希望者のショートステイ
- ・佐濃地域、久美浜再発見ツアーの実施
- ・遊休農地を活用した、農業交流イベントの企画・実施を行い、移住・定住に向けたきっかけづくりを行う。



#### ●佐濃自治会からSNS等での情報発信や、各種団体との連携等による地域の活性化

- ・佐濃自治会ホームページの作成
- ・SNSによる佐濃地域へのU・Iターン情報の発信
- ・10年後20年後を視野に佐濃地域を支える新青年団の結成
- ・スポーツ、文化活動を取り入れた若者交流会（婚活）
- ・農業体験活動と田畑オーナー制の募集と実施
- ・農業法人・福祉施設(障害者支援施設や高齢者支援施設)と連携した農業の担い手確保を行い、佐濃地域の持続可能な農業振興の支援を行う。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kigyocenter@kumihamakasseika.com](mailto:kigyocenter@kumihamakasseika.com)  
(電話番号) 0772-84-0820  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram)  
[https://instagram.com/sanochiku\\_kumihama/](https://instagram.com/sanochiku_kumihama/)  
(フェイスブック)  
<https://www.facebook.com/sanochiku.kumihama/>



### 基本情報



【年齢】  
45歳  
【出身地】  
和歌山県和歌山市  
【転出元】  
和歌山県和歌山市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.6～

### 協力隊に応募したきっかけ

2020年の年末に、自身がコロナウイルスに感染し、自宅療養を行っている際、実家に寄り添いたく東京から和歌山市の実家へ戻ることにした。

中学、高校時代の友人に就職先の相談を行ったところ、岬町での地域おこし協力隊の募集を知り、友人の住む町をプロデュースすることに魅力を感じ応募を行った。

### 今後の抱負・任期後の目標

岬町のPR番組をもっと知ってもらいたい。その為に日夜魅力あるプログラムを検討しています。また、町内のイベントを通じ、岬町をアピールしてまいります。任期後は、町内に定住し、岬町の為に何らかの関わりを持つ仕事をしたいと考えています。

### 活動内容

#### ●釣り人口を増やす取り組みの取材

漁業が盛んな岬町で、若者に釣りと自ら釣り上げた魚の調理を体験してもらうことで、町と漁業の魅力を肌で感じてもらうイベントに参加協力した。



#### ●深日港フェスティバルの取材

岬町で毎年開催している深日港フェスティバルに出展し、近隣市町村、洲本市等の方々へ魅力をPRしつつ、町が主催する同イベントの取材を行った。



#### ●岬町について語る

岬町在住、在外様々な年代、性別の方々へ岬町について語らい、町の魅力発信を行った。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.youtube.com/channel/UCJD6IaDwaopXCpMv8RqYL2g>



### 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
大阪府寝屋川市  
【転出元】  
大阪府枚方市  
【前職】  
不動産会社の企画  
民泊施設運営  
【活動時期】  
R2.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

前職の不動産会社で大阪の都市部や地方での空き家のリノベーション事業に従事し、空き家を活用した民泊施設の設計デザインに携わっていました。空き家活用のフィールドを地方に移したいと思っていたさなか、コロナ禍を追い風に移住に踏み切りました。空き家問題が顕著にあらわれている地方で、自分の可能性にチャレンジしたい、自治体とタッグを組んでさらに大きい規模でチャレンジしていきたい、と思い地域おこし協力隊という制度を利用しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

包括的に多可町や北播磨の認知度の向上を推し進めていきたいと考えています。空き家の活用事例のモデルケースを増やしていき、若い人が地方でチャレンジすることに対してのハードルが低い町づくりをしていきたいと思っています。また、地域おこし協力隊がおらず、連携が図ってこれなかった、定住自立圏である、北播磨エリアの自治体ともより広域的な視点で連携体制の構築を進めていきたいと思う。

### 活動内容

#### ●空き家バンク運営

令和3年度から多可町より空き家バンク運営業務を完全成功報酬にて受託運営。空き家バンク新規物件登録件数と空き家バンク成約件数にKPIをおき、新規物件登録数は前年度比120%、成約件数は前年度比160%を達成。移住者数も約100人となっている。今年度も成約登録共に前年度比150%を見込んでいる。



#### ●産官学連携空き家リノベーション事業

関西学院大学の建築学部・総合政策学部と連携し、空き家の利活用事業を始動。新たな取り組みとして、多可町と地元工務店協力のもと、物件実測、設計提案、建物改修を共に実施し、R5年5月より民泊施設としての運営を予定。



#### ●SMOUTを活用した地域おこし協力隊募集活動

SMOUTを活用し、潜在的な移住希望者に向けて発信。イベント実施の際にはSMOUTからの参加者が毎月増加傾向にある。全国ランキングでは723市町村（2021年12月末時点）中15位、県別ランキングでは豊岡市に続いて兵庫県2位となった。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（地域商社RAKU HP）<https://raku-taka.com/>  
（多可町定住サイト「タカ、と。」）<https://teiju.takacho.net/>  
（SMOUT）<https://smout.jp/areas/1361>

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
大阪府寝屋川市  
【転出元】  
愛知県名古屋市  
【前職】  
営業職  
【活動時期】  
R3.2～R6.1  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

奈良県飲食店事業者から、本制度の情報を聞いたのがきっかけ。その後、インターネットを通じ、情報を調べてZoom説明会を経て現在に至る。

### 今後の抱負・任期後の目標

地元の無農薬野菜や薬草を活用した事業を薬膳カレー屋を通して全国的に広めたい。薬草、ハーブ、スパイスを使用した体質改善を自宅でも簡単に取り入れるように店舗展開をしていきたい。(現在、2店舗目となる小売店を準備中)

### 活動内容

#### ●完全予約制の薬膳カレー

一人ひとりの体質に合わせてスパイスをブレンドした薬膳カレーのコース料理を提供。季節に合わせて2ヶ月ごとにメニューを変更しています。



#### ●約50種類のメディカルハーブ

お客様の体質に合わせて提供するために、多くのハーブティーを揃えております。様々なお客様の体質に対応できます。



#### ●地元木材をふんだんに活用した完全セルフリノベの内装

吉野杉、吉野檜を中心に内装を作り上げ、地元木材に触れる事ができる。椅子も国産材を使用。元家具メーカー営業ならではのこだわった内装に仕上がってます。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(HP) <http://torucurry.com>

宇陀市政策推進課  
(TEL) 0745-82-3910  
(アドレス) [s-suishin@city.uda.lg.jp](mailto:s-suishin@city.uda.lg.jp)



HP



Instagram

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
愛知県 日進市  
【転出元】  
愛知県 日進市  
【前 職】  
なし  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3

### 協力隊に応募したきっかけ

応募したきっかけは地方に移住し、宿泊施設開業を目標としている中で、目標を達成するために最適な道が地域おこし協力隊だったからです。和歌山県庁主催のオンラインイベントを見つけ、参加。由良町が抱える課題と自身のしたいものがマッチングしていたこと、そして話した職員の方々と一緒に働きたいと思い、訪問後に応募。採用され、今に至ります。

### 今後の抱負・任期後の目標

まずは、自分のことを町民に知ってもらい、信頼関係を構築し、目標である農業・漁業体験をメインとした一棟貸しの民泊施設を開業する。

### 活動内容

#### ●移住定住施策

主な業務は空き家を空き家バンクに登録、移住購入希望者を案内。購入の意思があれば、仲介として入り、サポートをする。移住定住のパンフレット作成。移住に関するフェアに参加する。入隊してまだ半年のため、補佐する場合がございます。



#### ●空き家改修

卒隊後、農業・漁業体験をメインとした一棟貸しの民泊施設開業のため、今年8月に賃貸借契約書を行い、9月から作業を開始。現在、行っている移住定住施策の延長線でお試し移住ができるように物件の貸し出しも視野に入れていきます。



### 連絡先



### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
千葉県白井市  
【転出元】  
千葉県白井市  
【前職】  
広告代理店  
【活動時期】  
R2.8～R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学で観光学を専攻していたことがきっかけです。講義で協力隊について学ぶ機会があり、これまで自分が関わることのなかった「限定されたコミュニティ（田舎）」について、深く知りたい！と思うようになりました。

実は応募前から縁もゆかりもない地に定住するイメージが持てず、任期後は都会に戻る気持ちでいました。そのため、大変でもいいから3年間、特に限定されたコミュニティである「離島」で生活したいという想いで、島根県隠岐の島町の協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

隠岐の島町職員になることを志望しています。移住してからの3年間、快くそして温かく受け入れてもらえました。そんな第二の故郷に対して、良いところだけに目を向けるのではなく、島の未来についても「いち島民」として考えられるようになりました。

よそ者×島民というハイブリッドな目線で、島のこれからを担う存在になりたいと思っています！

### 活動内容

#### ●移住促進・定住支援

移住相談や移住イベントへの出展、またSNSを活用した広報を通じて、隠岐の島町への移住を促進させる取り組みを行っています。

そのほかに、起業を希望する移住者に向けたガイドブックの作成など、定住支援も行っています。



起業ガイドブック「商い便利帳」

#### ●関係人口創出事業

隠岐の島町の関係人口施策で使用するメインロゴの公募や、隠岐の島町を応援したいという方と継続的な関係を築くための「つながり会員制度」の実施などを行っています。



会員特典の「つながりカード」

#### ●関係人口セミナー・イベントの開催

町職員を対象とした「関係人口」をテーマにした職員研修や、地域団体や事業者を対象とした相談会などを開催しています。

また、関係人口とつながる場を作るために、定期的なイベントを開催しています。



関係人口との協働イベント

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [chiiki@town.okinoshima.shimane.jp](mailto:chiiki@town.okinoshima.shimane.jp)  
(電話番号) 08512-2-8570

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Twitter) [https://twitter.com/Oki\\_chiiki](https://twitter.com/Oki_chiiki)  
(Facebook) <https://www.facebook.com/okinoshima.rangers>



Twitter



Facebook

### 基本情報



【年齢】  
41  
【出身地】  
東京都品川区  
【転出元】  
岡山県岡山市  
【前職】  
自営業  
【活動時期】  
R1.09 ~

### 活動内容

#### ○現在の活動について【活動概要】

- ・吉備高原都市の活性化事業
- ・県有分譲地の販売促進事業

吉備高原都市の活性化と分譲促進は、定住人口増加や町の発展に繋がる大切な仕事です。

しかし、それは紙面上の業務ではなく、人と人とのつながりや信頼が必要なことも多いことから、引き続き吉備高原都市をはじめ町内在住の方とのつながりを大切に業務に取り組みたいと思います。



### 協力隊に応募したきっかけ

募集情報は町内在住者から直接聞きました。

これまでの経験を活かし、様々な立場の方々と協力しながら、地域の人に喜んでほしい、地域社会に貢献できるやりがいのある仕事だと思いました。

副業可能なことで関わる人が固定化せず、視野も広くなり、より柔軟な考えやアイデアが出せると思いました。

魅力ある町に住みながら、その町がよりよい町となるお手伝いができるなら、是非チャレンジしたいと思い応募にいたしました。

### 今後の抱負・任期後の目標

本当に素晴らしい町なので、多くの人に知ってもらい、移住・定住に繋がれるよう取り組みたいです。

任期満了後も、町内の方たちと協力しながら町の活性の一助となれるような事業を立ち上げたいと思います。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [kibi-toshi@kibicity.ne.jp](mailto:kibi-toshi@kibicity.ne.jp)

(電話番号) 0866-56-8255

(職場) 株式会社吉備高原都市サービス

【活動場所の情報を発信しているSNS】

<https://www.instagram.com/kibikogency/>

<https://www.facebook.com/kibicityservice/>

### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
愛知県津川市  
【転出元】  
愛知県津川市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R2.4~R5.3.31  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

阿南市新野町では「平時は通常の民泊施設、災害時には避難所」とする「シームレス民泊」が全国初めて開始され他地域です。海から離れた場所にある新野町は防災のまちとして様々な活動をする一方、四国遍路2番札所「平等寺」がある門前町でもあります。民泊に興味があり、また地域での活動に興味があったため応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今年度で任期満了で退任することから、阿南市へ定住するために、協力隊での活動を活かして自身でも民泊を開業する予定で準備しています。また、地域の困りごとをなくし、更に生業につなげられるよう中小企業診断士の資格取得を目指して勉強中です。

### 活動内容

#### ●防災への取り組み

新野町は海岸線から離れた地域にあり、南海トラフ大地震時の津波被害はないとされる地域です。そのため、隣接する津波被害が予想される地域からの避難場所としても考えられていますが、徒歩で避難できる道を整備することに取り組んでいます。

整備後は、海岸地域の住民からは「これで安心になった」と喜んで頂いたことや、地域のおばあちゃんが「何かあったときは逃げれんとあきらめとったけど、整備してくれたおかげで避難しようと考えなおした」という言葉をいただいて、とてもうれしかったです。

今年、防災士の資格も取得したので、協力隊を退任してからも地域の一員として地域を守る存在でありたいです。

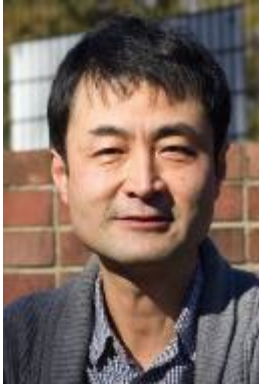


### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) sien@anani.i-tokushima.jp (電話番号) 0884-22-7404  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/seamlessvacationrentals/](https://peraichi.com/landing_pages/view/seamlessvacationrentals/)



### 基本情報



【年 齢】  
51歳  
【出身地】  
東京都練馬区  
【転出元】  
神奈川県松田町  
【前 職】  
装置制御系SE  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

会社員として働きながら、国内外の旅を続けてきました。旅先で、普段出会わないような人々と出会いがきっかけとなり、自分の考え方が変わる転機になりました。そのようなきっかけがあるような、地域住民と旅人による交流型宿泊施設開業を目指しており、島、農的な暮らしをキーワードに場所探しをしてました。今治市協力隊がフリーミッションであり、環境も希望とマッチするため応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

①果樹など農園&交流型宿泊施設を拠点として、非日常的な空間で人と人の交差点のような場をつくること。②集落の食堂、店舗、地域住民などと連携、「まち宿」のようにすること。それらの活動を通じ、人が自分の可能性に気づき、それぞれがしたいことに向け、歩み、応援しあえる社会にすること

### 活動内容

#### ●学びの場の創出

プログラミング教室など、地域で機会が乏しいジャンルの学びの場の創出



#### ●地域魅力UP&地域住民交流の場の創出

①野外シネマ企画など、地域魅力UP活動、②たき火企画など、地域住民同士の交流の場の創出を通じ、地域活力の1UPをめざす活動



#### ●地域住民とともに過ごす活動

①児童館、地域住民が集う施設、B&Gなど、地域住民が交流する場の運営お手伝い、②地域ローカルメディア編集、稲作、果樹農園、柑橘栽培、地域清掃、伝統行事など、地域住民活動のお手伝いを通じ、地域住民とともに「過ごす」活動



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス)

(電話番号) 0897-72-8772

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
momo\_kyoryoku(Instagram)

### 基本情報



【年齢】  
50歳  
【出身地】  
大阪府 大阪市  
【転出元】  
大阪府 大阪市  
【前職】  
NPO職員  
【活動時期】  
R2.4～ R5.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

協力隊への応募にあたっては、協力隊としての任期3年間を、起業・創業の準備期間として活用することができ、任期終了後も住み続けることのできることを考慮して、活動地域を選びました。上島町を選んだ理由は、①私がこれから生活したいと考えていた瀬戸内海の離島環境であったこと、②任期終了後の生業として予定していた地域の観光産業が、「しまなみ海道」に隣接し、これから拡大・発展していくことが見込まれたこと、③募集していたミッションが、宿泊施設の物件探しを兼ねることができ、また活動終了後にも関与して地域貢献しつづけることのできる移住・定住/空き家の領域であったことの3点です。

### 今後の抱負・任期後の目標

協力隊の任期が満期終了となった後の令和5年4月からの本格開業を目指して、上島町内の弓削島で空き家を改修した「ゲストハウスみちしお」の開業準備をすすめています。このゲストハウスは、地域へのサイクリストの流入増に寄与するとともに、潜在的なワーケーションとインバウンド、移住体験、地域課題解決プロセスへの参加/関係人口化の各需要の増加にそれぞれ応えていくことを目指しています。また任期中に、特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊を設立し、空き家問題解決のための活動を続けるための組織的な基盤を用意しました。

### 活動内容

#### ● 役場での移住・定住促進、空き家バンク運営業務

平日は8時30分から17時15分まで弓削総合支所にフルタイムで出勤し、「移住相談総合窓口（移住ワンストップ窓口）」での相談対応業務と空き家バンク運営業務を、同じミッションの同僚隊員と分担して行っています。その合間を縫って1年目から2年目に向け、町内すべての戸建て住宅を対象に「空き家実態調査」を行いました。



空き家実態調査の様子

#### ● NPO「かみじま町空き家よくし隊」の設立と運営

任期2年目の令和3年に、空き家の利活用促進を活動目的とする特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊を町内有志とともに設立しました。町内の空き家をDIYを基本に改修してすぐに住むことのできる状態にし、移住希望者に貸し出す活動モデルとしています。令和4年度には、人口減少が急速にすすむ高井神島において、交流拠点の整備と地域計画の策定も行います。



NPO主要メンバー

#### ● ゲストハウス展開計画「みちしおプロジェクト」の開始

これから観光産業の拡大が見込まれる上島町の島々に、回遊型/滞在型観光の拠点となる「ゲストハウスみちしお」を展開します。この計画は、愛媛県ビジネスプランコンテスト「EGFアワード2021-2022」で優秀賞を受賞しました。その1号店を弓削島で開業準備中です。これら施設は、地域課題解決の活動拠点、そしてコワーキングスペースとしても使用する予定です。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
 (協力隊活動) <https://www.facebook.com/shimakurashi>  
 (NPO活動) <https://www.facebook.com/akiyayokushitai>  
 (起業・創業) <https://note.com/michishio/>

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
東京都 町田市  
【転出元】  
東京都 世田谷区  
【前職】  
企画職  
【活動時期】  
R2.7月～R5.6月  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東京での子育てとお金の稼ぎ方に自信が無くなってきた時期に協力隊制度を知り、その中でも特に自由な気風と活発さを感じた松野町に惹かれて応募。

そのころ漠然と持っていた地方の役割や可能性に対するイメージと、それまで自分がしてきた仕事が無事となく良い形で結びつきそうな気がしたのも応募を後押しした。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・ 役場関連業務と地域活動のバランスを保つ
- ・ 関わっている事業の人的な基盤を出来る限り固める
- ・ 現在の業務をいつでも引き継ぎ可能な状態にする
- ・ 行政だから出来る事、民間だから出来る事の整理

任期後は、現在の協力隊活動の延長線上にある仕事をしたいと思っています。

### 活動内容

#### ● 移住者向けの雇用創出、およびそのPRと窓口業務

住まいと仕事がセットになった移住ルートが協力隊制度のみである状況を受けて、担当者と共に新たな移住ルートの整備を行った。企画提案、立ち上げ後の広報・求人、採用前後の受け入れ対応を担当。  
(事業名：森の国まつ事業協同組合)

「森を組み継ぐ」



森の国まつ事業協同組合

#### ● 新規協力隊募集に係る活動

町の協力隊について、年度ごとの募集のPRから視察ツアーの調整、現地案内、その他問い合わせ対応全般を担当。関連して、新規隊員の住まいとなる空き家のコーディネートも担当（所有者対応・バンク運営・改修補助金の案内・内覧調整など）。



#### ● 青空市の立ち上げ・運営（地域コミュニティ活動）

地域の商工業者、モノ作り作家と共同で、地元商工業振興とコミュニティ活性を目的とした青空市を立ち上げ、運営中。開催回ごとのコンセプト設定・フライヤーデザイン・SNS広報・出店者対応・当日の会場スタッフを担当。  
(企画名：松丸市 第四回開催へ向けて準備中)



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://hubplace.jp/board/kjr6035d9dcbcdc6/>





### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
東京都江戸川区  
【転出元】  
東京都杉並区  
【前職】  
福祉関係  
【活動時期】  
R3.3～R6.2  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

移住先を探していた中で、高知県に魅力を感じ、仕事と住む場所を探し始めました。実際に高知県へ足を運んだり、インターネットで調べの中で地域おこし協力隊の募集を見る機会があり、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期中は私自身が移住者ということで、移住希望者の方の立場にたった対応を心掛けながら移住促進の仕事に携わってまいります。また、高知で出会ったご縁や人とのつながりを大切に、自分にできることを少しずつ形にしていきたいと思っています。

### 活動内容

#### ●空き家調査

地域の住民の方にもご協力いただきながら、空き家調査を行っています。一軒一軒確認し、活用できそうな空き家に関しては、空き家バンク登録のご案内をしています。



#### ●移住体験ツアー

近隣の3市と連携し、合同で移住体験ツアーを開催しました。1泊2日のツアーには、県外から移住希望者の方が12名参加してくださり、各市の担当職員と一緒に各市を巡りました。



#### ●移住者交流会

毎年一度、移住者交流会を企画、運営しています。移住者同士の交流だけでなく、地元の方とも交流できる機会となるような内容を考えています。今年度は地元の農家さんにご協力いただき、みかんの収穫体験を行います。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [chiiki@city.kochi-konan.lg.jp](mailto:chiiki@city.kochi-konan.lg.jp)  
(電話番号) 0887-57-8503

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(HP) <https://www.city.kochi-konan.lg.jp/sumuzu/>  
(SNS) <https://www.instagram.com/konan.sumuzu/>

### 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
高知県 仁淀川町  
【転出元】  
神奈川県 川崎市  
【前 職】  
整備士  
【活動時期】  
R4.5～R7.4  
1年目

### 協力隊に応募したきっかけ

私は、高校卒業と同時に県外に出て、結婚し子育てをしていました。仕事はバイク屋で工場長を務めていましたが、地元仁淀川町のためになにかしたいと思い家族でUターン移住を決意しました。そして仁淀川町での仕事を探しているときに、聞いたことのなかった「地域おこし協力隊」という仕事を見つけ興味が出ました。さらに募集要項(ミッション)が「移住相談員」で、県外での生活を経験しUターンで帰ってきた私は移住相談の対応をするのはぴったりなのではと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

人が集まれる場所をつくりたい、そして今住んでいる若い人の定住率を上げつつ、私のようにUターンで帰ってくる人を増やしたいという思いがあるので、それに少しでも関係する仕事をしていきたいと思っています。元々着任前は集まれる場所づくりでカフェを開くなどを考えていましたが、もっと深く移住に関わる仕事があればそれも良いなと今はミッションを通して考えるようになりました。

### 活動内容

#### ●空き家調査

高知県は空き家率全国ワースト1に選ばれてしまっています。そして移住希望者がいても住める家でないとい移住はできません。なので実際に空き家に足を運び、家主さんと連絡をとり活用できる方法はないか模索します。活用可能と判断した場合、移住者と家のマッチングができるように進めていきます。



#### ●移住関連ホームページ、SNS運営

仁淀川町のホームページを含め、移住に関わるホームページの更新、編集を行います。少しでも多くの人に仁淀川町に興味を持ってもらい、まずは一度問い合わせをいただく、もしくは町にきてもらうことに繋がるよう編集します。



#### ●移住相談会参加

東京や大阪に行き移住相談会イベントに参加します。実際に移住を検討されている方々と直接お話し、仁淀川町を知らない、来たことのない方にはまず認知してもらい、知っている、来られたことのある方にはより深く知ってもらい、最終的に移住に繋がれるよう対面でお話させていただきます。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
仁淀川町地域おこし協力隊 Instagram →



2418KRT

### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
福岡県八女市  
【転出元】  
京都府京都市  
【前 職】  
大学生  
【活動時期】  
R2.5～R5.4  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大学では政策学を専攻し、過疎地域について学んでいた。当時、八女市において導入に向けた検討を進めていたコミュニティ通貨の取組は、課題となっていた地域の担い手不足や、コミュニティの希薄化を解消する有効なツールであると考えている。大学で学んだことを活かしながら、市民も市外住民も知らない、新たな八女市の魅力を発見し、移住定住促進につながる活動を行いたいと思い協力隊に応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期終了後は、地域においてコミュニティの拠点となるような喫茶店開業を目指している。地域住民はもとより、観光客や移住検討者でも、「このお店に来たら地域の事を知ることができる」と思ってもらえるようなお店にしたい。

### 活動内容

#### ●八女市の魅力発信「八女のロマンプロジェクト」

八女市の魅力発信のため、八女のロマン公式サイト  
の運営や、各種SNSの運用を行っている。  
八女のロマン公式サイトは、観光PRではなく八女市  
に住む人の魅力にフォーカスしたサイトとなっている。  
また、その他移住のための各種支援情報も掲載  
している。



#### ●関係人口創出拠点「つながるバス停」

市内に新たに建設されたバス停を、関係人口を創出  
するための拠点として運用している。コミュニティ  
ライブラリーや、市内で起業を目指す方のために  
チャレンジショップとして提供することで、地域と  
の関係作りの手助けを行っている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) teijyutaisaku@city.yame.lg.jp  
(電話番号) 0943-24-8162

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(八女のロマン公式サイト) <https://www.romanticyame.com/>



### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
埼玉県  
【転出元】  
茨城県  
【前職】  
編集者・記者  
【活動時期】  
R3.12～

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍でオーストラリアから帰国して、東京で再就職するよりも、自然豊かな地方で仕事をしたいと思ったため。日本の田舎の農的暮らしに興味があり、九州の有機農家さん等を訪ねて旅行し、地域おこし協力隊をしている人に会ったことで、その制度を知った。有楽町の移住フェアでたまたま佐賀県庁の協力隊募集を知り、応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

移住者の声をひろうのが主なミッションだが、移住者だけのコミュニティづくりをするのではなく、農業や林業のイベント企画を通して、地元の人とも交流できるようなコミュニティづくりができればと思っている。

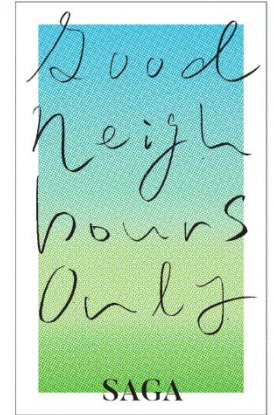
### 活動内容

#### ●グッドネイバースオンリー

移住者にカードの配布を通してオンラインとリアルでの交流の場を提供。移住者の孤立防止とメインミッションである移住者の声をひろう仕組みづくり。

佐賀へ引っ越ししてきた人に、デザイン性の高いカードを配布。市町ごとに縁のあるデザイナーさんにカードをデザインをしていただく。カードにはInstagramのQRコードがあり、Instagramでは協賛カフェの紹介をしている。協賛カフェに足を運んでもらい、注文時にカードを見せると、サービスの提供を受けることができる。また、カードにより移住者であることがわかるので、カフェ店員さんからお声がけをしやすくなる。会話のきっかけづくりのカードとなり、カフェ利用者がまた訪れたいくなるような関係性となることを理想とする。

Instagramでは質問箱やDMを利用して、移住者とコミュニケーションを取り、移住者の声をひろう。その声をもとに、イベント等を企画していく。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [ishigami-emiko@pref.saga.lg.jp](mailto:ishigami-emiko@pref.saga.lg.jp)  
(電話番号) 0952-25-7393  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram (@goodneighboursonly)



### 基本情報



【年齢】  
54歳  
【出身地】  
佐賀県佐賀市  
【転出元】  
大阪府吹田市  
【前職】  
マルシェ（コーディネーター）  
【活動時期】  
R3.4.15～

### 協力隊に応募したきっかけ

佐賀出身で大阪で長く暮らしていたが、Uターンを考えてた。親の年齢や子供の進学も丁度良いタイミングに、友人のSNSで偶然小城市の地域おこし協力隊の募集を知る。元々、家や地域貢献に興味があったことと、小城市の事が好きだったので、大変魅力を感じ応募。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の方と行政との中間的存在であることや、現在の経験を活かして、空き家、移住、定住のコーディネーターとして活動したいと考えています。  
具体的には、空き家バンクの促進、空き家活用、移住者のフォローなどを中心に考えています。

### 活動内容

#### ●おぎ移住相談窓口

小城市、牛津町、芦刈町で出張相談窓口を開催。空き家バンクや空き家活用の相談、移住や定住の相談などを受け、フォローを含めて相談者に寄り添い細やかな対応を心がけている。



#### ●空き家バンク促進

空き家の掘り起し。家財道具や相続等の相談。必要に応じて専門家へ繋ぐ。空き家を活用したいが問題を抱えている方のフォロー。空き家バンク登録。空き家バンクの管理。



#### ●イベント開催

「楽しもう！小城での暮らし」を合言葉に、移住茶会（座談会）、箸置きづくり、DIYワークショップ（スツール作り）、空き家出前講座、断捨離講座等開催。これらを通じて、相談窓口、空き家バンクの事を知ってもらったり、家の事を考えるきっかけづくりをしている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス）akiya@city.ogi.ig.jp （電話番号）0952-37-6150(職場)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram yokadesuyo\_ogi  
Facebook おぎ移住相談窓口

### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
大阪府河内長野市  
【転出元】  
東京都練馬区  
【前職】  
保育士、建設コンサルタント  
【活動時期】  
R3.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

情報や人が集まるまち東京で楽しく暮らしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、長く暮らしていくための住環境について考え直し移住に興味を持つようになりました。同時期に決まった結婚を機に、夫の生まれである佐賀県で暮らすことを決断。以前から仕事を通して「子どもも大人も自分らしく楽しく暮らす」ことに貢献したいと取り組んでおり、嬉野市の募集するミッション「空き家・移住・ネットラジオ」が、様々な方の暮らしをサポートできると思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

移住者も、市民の方も、子どもも、大人も、自分がやりたいと思うことを、小さなことからチャレンジできるように応援する場や機会を作っていきたいと思っています。  
「嬉野に暮らす＝自分らしく暮らす」になるように、移住後のコミュニティ支援、子どもと地域活動を繋げる、空き家の活用がイメージできるような事例集の作成、女性のキャリア支援、チャレンジショップなど、市民の方に協力して頂きながら自分ができることに取り組んでいきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●インターネットラジオによる情報発信

インターネットラジオ（ポッドキャスト）で月1回配信を行う。テーマは「空き家を活用している人」「嬉野で暮らす・働く女性」など。自身が移住する際に悩んだことを活かし、移住や空き家を検討する方の参考になる内容を、嬉野市民の方々にご協力頂きながら作っています。



#### ●空き家の活用

空き家バンクの運営補助（空き家の調査、HPでの情報発信、内覧対応、相談対応）を行う。空き家を提供したい人・買いたい人の、疑問を解消できるように、様々な情報を収集して解決できるように努めています。実際に改修をされている方と購入を考えている人を繋ぐことなどもしています。



#### ●移住促進

移住相談（オンライン、メール、電話、移住フェア等）を行う。また移住検討者が短期滞在して嬉野市の暮らしを体験する「お試し住宅」の運営補助を行う。相談者の希望する暮らしを聞き、近い暮らしをしている方を繋いだり、まち歩きをしながら実際に移住した自身ならではの情報をお伝えしています。

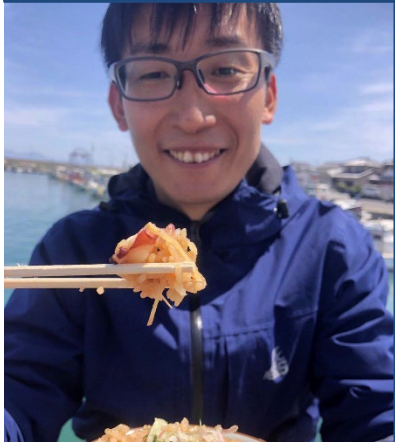


### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [kikaku@city.ureshino.lg.jp](mailto:kikaku@city.ureshino.lg.jp) (電話番号) 0954-66-9117  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(instagram) <https://www.instagram.com/ureshinokyoryokutai/>  
(ネットラジオ)  
<https://open.spotify.com/show/3ELO28M0CWf328eSFL5BRB>



### 基本情報



【年齢】  
32歳  
【出身地】  
長崎県長崎市  
【転出元】  
東京都調布市  
【前職】  
釣りのWEBメディア編集部  
【活動時期】  
R3.3～

### 協力隊に応募したきっかけ

都内から長崎県へUターンする手段として、協力隊へ応募しました。  
島原市内には火山・湧水・歴史といった多くの魅力的な資源があることを知り、本市への応募を決めました。

### 今後の抱負・任期後の目標

自走できるような事業づくりが目標です。

### 活動内容

#### ●WEBサイト「ちよいそと」でのアウトドア情報発信

島原の登山・釣り・キャンプなど、アウトドア情報をブログやSNSを中心に発信。



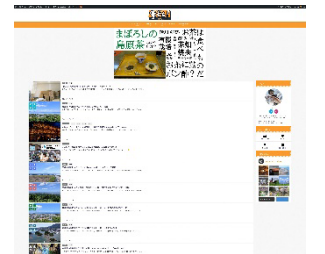
#### ●イベント企画：舞岳山荘ハムづくり体験

市内唯一のキャンプ場「舞岳山荘」の認知向上と利活用を目的に、地元ブランドの豚肉を使用したハムづくり体験を企画・運営。  
約半年で100名以上が参加。



#### ●雑記ブログ「どどん！」での島原市の情報発信

島原市に移住して出会ったモノ・ヒト・コトをブログで発信。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [okoshi14@city.shimabara.lg.jp](mailto:okoshi14@city.shimabara.lg.jp)  
(電話番号) 0957-61-1652  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(ちよいそと) (どどん)



### 基本情報



【年齢】  
51歳  
【出身地】  
静岡県 熱海市  
【転出元】  
愛知県名古屋市  
【前職】  
自営業（居酒屋）  
【活動時期】  
R元. 6～

### 協力隊に応募したきっかけ

居酒屋を経営していた時から、自分で取った魚や野菜で料理を作ってお客様に出したいと10年位考えていました。候補地を長崎に絞り（自然が豊）I、Uターンの相談会に出席して、松島の地域おこし協力隊を知りました。私がやりたいことがミッションそのままでしたので志望しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

- ・宿を軌道に乗せる
- ・小型船で釣り技術向上、素潜り
- ・島野菜をブランド化させるまた、収穫量を増やす
- ・賛同者集め定住者を増やす
- ・宿を拡張して集客力を上げる

### 活動内容

#### ●松島の活性化、移住定住

- ①松島に宿の設立
- ②松島の特産品PR活動、販売
- ③松島の情報発信（HP、SNS、情報誌等）
- ④移住希望者や来島者の島の案内

#### <略歴>

- 2019年5月 愛知県名古屋市名東区から自営居酒屋を閉めて松島に移住  
2019年6月 西海市松島地域おこし協力隊活動開始  
松島の宿泊施設プロジェクト開始  
2019年9月 松島島民と連携して島野菜の販売プロジェクト開始  
2020年2月 松島内郷、外郷に宿のリフォームを開始  
2020年8月 新屋敷、はえん風、宿オープン



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
38歳  
【出身地】  
埼玉県 羽生市  
【転出元】  
埼玉県 羽生市  
【前職】  
会社員（物流関係）  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
（1年目）

### 協力隊に応募したきっかけ

子ども3人を抱え移住するにあたり、移住前から役場の方たちがいろいろお世話をしていただいたことで、その恩返しに、地域のために何かできないかなと考えていた時、地域おこし協力隊の募集を紹介していただきました。うれしいことに、子育て世帯をターゲットにした移住・定住促進という募集要項に、私の移住経験が生かせると思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

町の情報発信を踏まえ、東彼杵町を知ってもらい町に魅力を感じ少しでも多くの方に町に足を運んでいただく

若い世帯の移住者を増やし、出生数の増加に期待し将来の人口減少を抑える

任期後は、地域の人が集まる飲食店を起業したい

### 活動内容

#### ●移住相談会

オンライン・オフラインの移住相談会へ参画し、相談者との信頼関係を構築し、移住定住の促進を促す



#### ●お試し住宅の活用

町内にはお試し住宅があり、移住希望者にはお試し住宅の利用をお勧めしています。実際に田舎暮らしを体験することで、地域のことを肌で感じ生活インフラを知ることができます。また希望者には、町内の案内を行っています。



#### ●空き家バンク制度

町内には空き家バンクという制度があります。空き家を有効活用し、空き家問題を解決。空き家バンクに登録した物件の見学希望者には物件案内します。

物件番号22期の中心部に近く、静寂環境も広く生活しやすい環境にある。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
長崎県東彼杵町役場 総務課  
地域おこし協力隊 齋藤節子  
電話:0957-46-1286  
メール:s.saitou@town.higashisonogi.lg.jp



### 基本情報



【年 齢】  
25歳  
【出身地】  
滋賀県大津市  
【転出元】  
大阪府大阪市  
【前 職】  
学生  
【活動時期】  
R2.10～ R5.10  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

一緒に活動している相方の血縁が小値賀にあり、そこから小値賀町さんとのご縁で納島の協力隊を始めた。

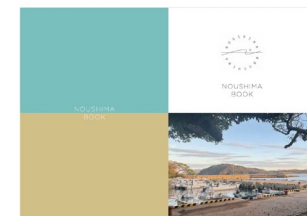
### 今後の抱負・任期後の目標

最終目標は移住や定住を目指しているが、納島は二次離島だけあってとても難しい。そのため、まずは関係人口の創出に力を入れている。関係人口における最終目標としては、私が滞在していない間でも、来島者が来やすい島になること。今、私たちがいることで島民と島外民の交流が少しずつできている。そのつながりや交流を今のうちに濃くしていき、私たちがいない間でも納島の〇〇さんに会いにきたとなるようにしていきたい。

### 活動内容

#### ●情報発信、PR

インスタグラムでの発信。YouTubeでの動画配信。  
ウェブでのブログ更新。納島専用のHP作成、PR。  
納島Tシャツを制作、販売。  
納島の言い伝えや歴史を形に残した納島BOOKを制作。



#### ●関係人口創出

元々ある集落の中山間制度を利用し、有償サポーターの受け入れ。民泊を始め、納島へ滞在する時間増加を図る。  
また、小値賀島民でさえきたことがない人が多数いるので、小値賀の人が納島に来るきっかけを作るためにも、まずは私が小値賀島民に知っていただくために小値賀の行事にも参加している。



#### ●島のコミュニティ活動への参加

島の祭りや島の掃除への参加はもちろんのこと、島民との関係性を作るためにできる範囲でのお手伝いをする。  
農業の収穫、出荷準備、協力隊自身が農業自体の挑戦（島民を知ろうとする活動）、トラクターなどで遊んでいる田畑の整備。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(納島HP) <https://noushima.com/> (Instagram) noushima\_ojika

### 基本情報



【年 齢】  
31歳  
【出身地】  
福岡県福岡市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前 職】  
建築設計事務所  
【活動時期】  
R4.8～R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

祖母が熊本県菊池市に住んでおり、祖母の住んでいる地域に空き家が目立ち始め、人が減り、牛や馬も減り、昔の大工さんが建てた素晴らしい建物も劣化していくのを見て、小さな頃から親しんだ場所が廃れていくようで、どうにかならないかという想いで、まずは、建築の経験を生かし、空き家利活用をしていけないかと思い、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後は山間部の空き家だけでなく、街中の商店街の店舗空き家も目立つので、山間部と街中の空き家のそれぞれの課題をクリアし、地域活性化を進めていきたいです。また、空き家から利活用実現までのワークショップなども行い、地域の方々により良い地域をつくってほしいと思います。任期後は、より一層、空き家事業や地域づくりに取り組んでいき、建築設計と不動産を一貫して行い、菊池市をより楽しめるまちにしていきたいです。

### 活動内容

#### ● 過疎地域の空き家調査

過疎指定された地域にある空き家の現状調査を行い、所有者不明の空き家の所有者調査や空き家の賃貸化促進に向けた作業・事業を進めております。



#### ● 過程を楽しむ古民家利活用

まちなかの古民家を利活用し、高校生をまちなかに呼び戻し、地域の方々の拠点となるような場所をつくっています。高校生が何があれば自分たちは、ここに来るかを考え、自分たちでDIYしていき、地域の方々からサポートを受け、関わる人たちの思い入れのある場所をつくっていく事を目指しています。



#### ● まちなかデザイン会議

有識者・行政と一緒に市民の方々と任意団体を発足し、毎月定例会議を行い、市所有物件の利活用事業を有識者を交え、検討・提案するなど、まちなか活性化を考えております。「次世代に魅せるまちづくり」をスローガンに、菊池の良さを出来るだけ、まちなかに落とし込めるよう同心協力しております。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [chiiki@city.kikuchi.lg.jp](mailto:chiiki@city.kikuchi.lg.jp) (菊池市地域振興課)  
(電話番号) 0968-25-7250 (菊池市地域振興課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
高校生との古民家利活用 (tate.base インスタグラム)  
<https://www.instagram.com/kikuchi.tate.base/>



### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
福岡県福岡市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前職】  
中学校教員  
【活動時期】  
R4.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

以前から、自然豊かな土地で、自分の興味・関心や経験を生かして働きたいと考えていました。妻の親族の出身地でもある、和水町で協力隊の募集を行っていたので、応募をしました。

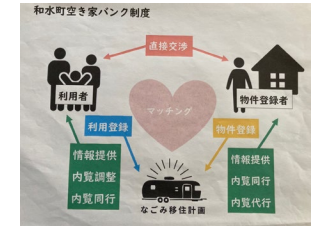
### 今後の抱負・任期後の目標

今後は、SNSなどを適切に使用し町の情報を多くの方に発信していきたいと思ひます。また、町の長所をいかしたイベント等を実施したいと考えています。情報発信とイベントを連動させ、多くの方が町に興味をもってもらえる仕組みづくりをしていくのが目標です。任期後は、現在取り組んでいる自然農法の勉強をいかした就農や6次産業への取り組みをしていきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●空き家バンク

町内の賃貸（販売）できる住宅を所有している方からの物件情報を「空き家バンク」へ登録していただき、移住・定住希望者へ情報提供する「空き家バンク制度」を実施しています。移住定住希望者の物件内覧対応や、登録物件の資料づくり、制度の周知活動などを行っています。



#### ●お試し住宅

町外から移住を検討されている方を対象に、和水町での暮らしを具体的にイメージしてもらうため、お試し暮らし住宅を整備しています。ご利用者様の入退去の対応や、住宅の整備、ご利用者様を対象とした家庭菜園の整備などを行っています。



#### ●Instagramアカウント運用

町の魅力や情報を広く知ってもらうために、協力隊のアカウントを運用しています。内容としては、飲食店、観光名所、施設案内などを週3回、定期的に投稿をします。

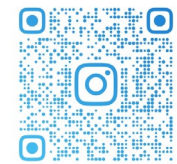
nagomi.kyoryokutai

463 投稿  
713 フォロワー  
249 フォロワー中

和水町地域おこし協力隊  
#和水町 #地域おこし協力隊 の公式アカウントです！  
現在3名で活動中！熊本県北、福岡県と隣接する自然豊かな町です！強アルカリ性美肌の湯「三加和温泉」もありま  
すよ！#ナゴミにきななせ

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram)



NAGOMI.KYORYOKUTAI



### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
熊本県菊陽町  
【転出元】  
東京都台東区  
【前職】  
不動産業  
【活動時期】  
R2.9～ R5.8  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

出身である熊本で自分の経験を生かして働きたいと考えていました。「空き家」「リノベーション」「移住」など関心のあるテーマで協力隊の募集がされていたため応募しました。

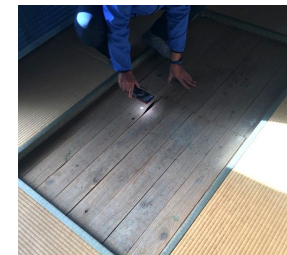
### 今後の抱負・任期後の目標

移住相談や空き家バンク等を通じて移住者、特に現役世代の受け入れを増やし地域の活性化に貢献したいです。また、今年6月に町内の空き店舗を活用し、ブックカフェ「malou」をオープンしました。今後、店舗の運営を軌道に乗せ、任期後も経営を継続していきたいと考えています。

### 活動内容

#### ●空き家バンク

新規登録の相談、物件調査、内覧対応など  
→移住して実際に暮らしてみたいの印象など



#### ●お試し暮らし住宅

改装作業、維持管理、入退去対応  
→町内案内、移住者の紹介など



#### ●ブックカフェ「malou」運営

空き店舗を活用した拠点づくり  
→イベント・教室などの地域活動



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(インスタグラム) [https://www.instagram.com/malou\\_nagomi/](https://www.instagram.com/malou_nagomi/)



@MALOU\_NAGOMI

### 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
福岡県 大牟田市  
【転出元】  
福岡県 久留米市  
【前職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.12～ R4.11  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

着任以前は、カスタマエンジニアとして働いていたが、自らの知見を広げるために、ワーキングホリデー制度を活用し、オーストラリアに2年間の滞在を経験。

その際、「働きながら楽しみを見つけて生活すること」や「異文化との交流」を体感し、移住や交流に関する活動に自らの経験を活かしたいと思い、協力隊に応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

日南市に移住し、年間200万人の観光客を誇る豊富な観光資源と外部人材を受け入れる地域の寛容性の高さを強く感じたが、観光客や移住者と地元の方との繋がり場の提供する機会が少ないとも感じた。

今後は、人材の交流地点となるコミュニティスペースを創出し、関係人口・交流人口の拡大やビジネス、意見交換の場等としての機能を果たし、経済や交流の活性化を図っていきたい。

### 活動内容

#### ●地域資源を活用したワーケーションツアー

宮崎県の「みやざきの森林」を活かしたワーケーション推進事業を活用し、「山と島貸しワーケーション」と題して、モニターツアーを実施。ライブコマース事業に携わる企業がツアーに参加し、その後、日南市特産品のPRを行う実証実験の実施に繋がった。



#### ●特定地域づくり事業協同組合設立に向けて

地域の労働力不足の解消を目的として、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した事業協同組合の設立に向けた取組みとして、自治体に対する提案を始め、市内事業者の意向調査や組合員の確保などに尽力した。



#### ●市内小学校の授業に講師として登壇

「ふるさとまちづくり」というテーマに沿って、移住者という立場から、講師として登壇。自身のこれまでの歩みや協力隊となった経緯、日南市の強み（魅力）、弱み（課題）など、自身の生活を通じた気づきについて講話を行った。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0987-31-1169 (日南市役所 商工政策課)

## 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
宮城県 山元町  
【転出元】  
東京都 世田谷区  
【前職】  
Webディレクター  
【活動時期】  
R3.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍もあり地方移住を検討している時に、友人が地域おこし協力隊となり、興味が沸いたのがきっかけです。木城町へ応募した理由としては、「join」のサイトにて九州地方の求人を見ていたところ、自分の前職の経験が活かすことができそうな木城町の募集があり、町の雰囲気も出身地と近いものを感じたので、この町を選びました。

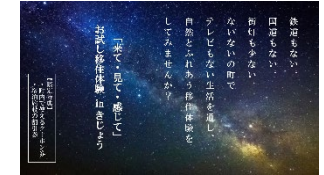
## 今後の抱負・任期後の目標

ミッションである移住定住に力を注ぎつつ、地元の人との交流も行っていき、活動の幅を更に広げていきたいです。卒隊後は新規起業や地域に根差した企業や団体への就職も検討していきたい。

## 活動内容

## ●移住定住

窓口に来た木城町への移住相談の対応をしております。住居の紹介や奨励金、町の施設など移住者の欲しい情報を提供しています。県外で行われる移住相談会等にも参加しております。また、着任後新たに「お試し移住」の企画も行い、リアルな田舎暮らしが体験できる事業も始めている。



## ●空き家バンクの活性化

空き家バンクを運用する中で、専門知識や物件の査定など、自治体職員では対応しきれない部分も多いことが分かり、同協会との連携協定を締結しました。協定の締結により、不動産売買等の知識のない所有者・購入者が安心して取引できる仕組みの構築が実現しました。また、積極的な空き家の掘り起こしや空き家情報のVR化など積極的な取組を展開し、成約件数が飛躍的に伸び、移住定住につながっている。



## ■地域活動団体への参加

消防団に所属して、火災予防活動をはじめとし、火災2件、遭難者捜索1件の出動に参加しました。また、木城町若者連絡協議会に理事として参加し、前職の経験を活かし「第26回 MTB 4時間耐久 in 木城」のポスター及び、Tシャツの作成を行いました。職務外においても地域活動に積極的に参加しています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
kijo-iju@town.kijo.lg.jp (電話番号) 0983-32-4727



### 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
宮城県仙台市  
【転出元】  
京都府京都市  
【前職】  
自転車製造販売会社勤務  
【活動時期】  
R4.3～ R7.2  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

妻は移住先で地域おこし協力隊の募集にエントリーしていました。そんな時に、協力隊として移住コーディネーターを募集しているが旦那さんも応募してみないかと川南町役場からお声がけいただきました。自身も移住者となるので、その経験を活かして移住を検討する方々にお役立ちできるのではないかと考えたことと、移住者を増やして楽しい町にしたいと考え、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

自分自身が楽しみながら、いろんな新しいことにチャレンジしていきたいです。協力隊の活動を行う中で、自分のやりたいことに協力してくれる仲間が増えて川南町がより楽しい町になることを楽しみにしています。任期後は川南町と移住者をつなぐきっかけとなるようなゲストハウスの開業や、自分自身が楽しいと思えるような仕事ができる様に準備していくことを目標として活動していきます。

### 活動内容

#### ●移住相談対応

移住検討者向けのお試し滞在施設の予約管理や、お試し移住に関するお問合せの対応を行っています。実際に川南町に来られた際には、町の名所や空き家の案内をしながら、移住してからの自身の生活についてのお話をさせていただきます。



#### ●移住者交流イベントの企画

川南町は小さな町ですが、移住された方々のお仕事や住んでいる場所は様々で、普段の生活の中で移住者同士の交流の機会意外と少ないです。移住者同士が交流イベントを通じて繋がり、移住生活をより楽しんでいただけるようなイベントを企画しています。



#### ●川南町のPR

協力隊のFacebookや移住定住サイト（川南合衆国）内で「協力隊ブログ」を開設し、町の情報や協力隊の企画したイベント等の情報を発信しています。また、今後は移住者だけでなく移住を検討する方々向けのイベント等も企画していきたいと考えています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [k-chiikiokoshi@town.kawaminami.miyazaki.jp](mailto:k-chiikiokoshi@town.kawaminami.miyazaki.jp)  
(電話番号) 0983-27-8002

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(協力隊ブログ：移住定住サイト内) <https://life-kawaminami.jp>

### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
宮崎県宮崎市  
【転出元】  
宮崎県宮崎市  
【前職】  
自営業  
【活動時期】  
R3.4～

### 協力隊に応募したきっかけ

協力隊に応募するより前に、美郷町に一目惚れし、移住を決めていました。その後に地域おこし協力隊という制度があることを知り、応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

地域の方とお話をしていると、困りごとを耳にすることもあります。任期後は、地域の困りごとを解決するビジネスができるといいなと思っています。

### 活動内容

#### ●起業支援

「こういうことをしてみたい」というご相談があったときに、それを実現するために必要な事柄を、ご相談者様と一緒に検討して取り組みます。

これまで、飲食店や、町内初の民間保育施設の立ち上げなどに、関わらせていただきました。

分からないことばかりで、私も日々勉強させてもらっています。

#### ●事業承継

商工会や、県の事業継承・引き継ぎ支援センターと一緒に、事業承継に取り組んでいます。まだ制度への馴染みが薄く、認知を図ったり、ニーズを掘り起こす段階ですが、少しずつ浸透しているのかなと感じています。



#### ●情報発信

移住してこられた方に、移住と仕事に就いてインタビューをしてブログを書いています。

また、一年目は家計に関する調査のお手伝いをしましたので、その結果を町民の方に向けて伝える記事を、全5回で広報に掲載しました。



移住と仕事のリアルインタビュー

みさと移住.com

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) t-yoko@town.miyazaki-misato.lg.jp  
(電話番号) 0982-66-3603

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
ブログ <https://misatoiju.com/>

### 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
東京都町田市  
【転出元】  
東京都目黒区  
【前職】  
広告代理店  
(副業として継続中)  
【活動時期】  
R4.4月～R7.3月  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍の影響で仕事がリモートワークとなり、住む場所にこだわりがなくなった事と人とのコミュニケーションがしたいと考えていた頃に、鹿屋市の協力隊の募集をみつけた為

### 今後の抱負・任期後の目標

自分のベースはずっと関東圏だったので鹿屋市や鹿児島の魅力を一人でも多くの関東の人たちに知ってもらえるようなきっかけ作りをしていきたいと考えています!

### 活動内容

#### ●鹿屋市の企業紹介動画の撮影・制作

鹿屋市の企業さんを紹介する動画の制作。撮影から編集作業までを担当しています。



#### ●かのやで暮らすSNSの情報配信

SNSにて鹿屋の移住に関する情報を発信しています。

Instagram | @kanoyadekurasu



#### ●小庭市への出店(2022/10/23)

鹿児島市にて2カ月に一度行なわれている小庭市に協力隊3人で鹿屋市で作られた手作りの商品(ピーナッツバターやピクルス、チョコレート)を生産者の代わりに販売。この他に、鹿屋市で来年2月に行なわれるマーケットにも協力隊の特別枠として地域の洋菓子店とコラボしたオリジナルカヌレを販売する。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) chiikiokoshi03@city.kanoya.lg.jp (電話番号) 0994-43-2111



### 基本情報



【年齢】  
36歳  
【出身地】  
埼玉県草加市  
【転出元】  
東京都江東区  
【前職】  
IT業界の営業職  
【活動時期】  
R4.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

アメリカ留学時に外国人に囲まれて過ごす中で自分はマイノリティであることを痛感する一方、世界のこともっと知りたいと思い海外や日本中の旅行を決意。海外15か国、ロードバイクでの日本縦断を含む国内47都道府県を旅行する中で、観光地を回るだけでなくもっと地域に深く入り、人や文化を知りたいと思い、移住ができ、かつ地域とのつながりを深く持つため協力隊に応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

約15年間、IT業界の営業として培ってきたアイデア、スピード、実行力を武器に自分でしかできない事業に取り組んでいきたい。  
また、協力隊制度に業務・指揮命令・待遇上に課題があると感じており、今後増加が見込まれる隊員のためにも改善を提案していきたい。

### 活動内容

#### ●築100年の古民家をゲストハウス・カフェに！

市街地の9割が焦土となった終戦間際の枕崎大空襲から奇跡的に戦災を免れた築100年の古民家。空き家になっていたその歴史ある邸宅を枕崎市の未来あるまちづくりの一端を担うという想いのもと、個と個と紡ぐ「KoToKoTo」と名付け2022年12月のオープンに向け改修・改装を進めております。



#### ●カンボジア在住日本人アーティストのSDGs展を枕崎で！！

本土から最も東南アジアに近く、外国人実習生も多い枕崎で、カンボジアに拠点を置き社会問題をアート・デザインで解決するSocial Compassのアーティスト展の企画を進めております。カンボジアと枕崎の子供にSDGsを題材にワークショップを行い、交流することも企画中。



×



#### ●移住ドラフト会議で移住者を三本釣り！！

私自身、移住のきっかけになった九州移住ドラフト会議。去年は選手(移住希望者)での参加でしたが、今年は監督(移住募集地域側)で参加します！「移住」という人生の大きな決断を人と地域の関係づくりをもとにコントのようなノリで乗り越え、移住者を三本釣り！（三人選手を指名できるため）



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Facebook : <https://www.facebook.com/yusuke.ohashi.52>  
Twitter : @toppo\_noppo21  
Insta : toppo.noppo22

### 基本情報

【年齢】  
35歳  
【出身地】  
東京都杉並区  
【転出元】  
東京都町田市  
【前職】  
ものづくり福祉作業所  
【活動時期】  
R2.9～R5.8  
(3年目)



### 協力隊に応募したきっかけ

北薩に遊びに来たのがきっかけで地域に一目ぼれし、移住を決意。住まいと仕事がないと移住は難しいかと考えている時に募集があり、応募しました。面接の際に、出水市行政職員の方から、「自身の今までの経験や特技を活かして、地域に新しい風を吹き込んでほしい」と言ってもらえてことも移住を決めた要因の一つ。

### 今後の抱負・任期後の目標

商店街の空き物件をセルフリノベーションし、『scAle』というお店をオープンしました。今はカフェとしての営業がメインになっていますが、今後はデザインやイラスト、困りごとへの伴走支援を主な仕事にしていきたい。scAleで働きたい、地元を盛り上げたい、自分で考えて働くことをしてみたい若い世代の雇用と、地域活性の種まきをしていきたい。

### 活動内容

#### ●DIYでお店づくり

約二年がかりで、地元の学生やこども連れの家族、様々な方に参加してもらい、自分たちの手で工事してお店・交流拠点『scAle』づくりを行いました。オープン後も幅広い世代に体験・交流をしてもらえる場所として様々な展開に挑戦中。

- ・移住者の定住に向けた活動のモデルケースとして視察や研修の受け入れ。講演。
- ・イベント企画
- ・地産品を使ったメニュー開発
- ・活動内容、出水市をメディアで告知
- ・地域の情報を収集、紹介、告知
- ・「地元を楽しくしたい」という地元の方々の相談窓口



#### ●移住定住促進

- ・移住者目線で出水市の魅力を体験し、SNS等で告知拡散。
- ・自身の移住体験をもとに、移住希望者と移住者募集自治体のマッチングお手伝い。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・インスタグラム】  
(出水市地域おこし協力隊：izumi.chiikiokoshi )  
(scAle : scale\_izumi)



IZUMI.CHIIKIOKOSHI



SCALE.IZUMI

### 基本情報



【年 齢】  
29歳  
【出身地】  
埼玉県上尾市  
【転出元】  
埼玉県上尾市  
【前 職】  
溶接工  
【活動時期】  
R1.10～

### 活動内容

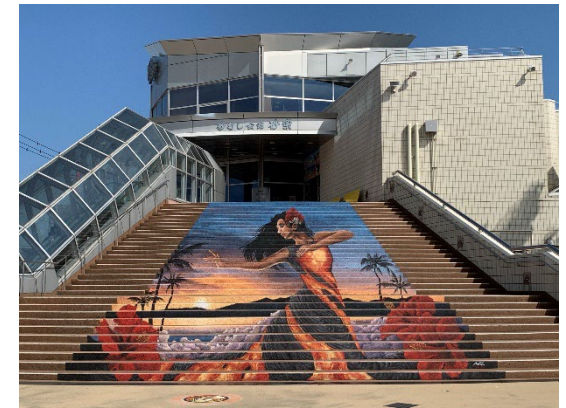
#### ● 移住定住促進

- ・ 移住イベントへの出展
- ・ 移住希望者の案内・相談受付



#### ● TOMOSHIBI アートのある街計画

- ・ 地域を巻き込んだアートによる街おこし



### 協力隊に応募したきっかけ

先輩隊員に誘われた為。

### 今後の抱負・任期後の目標

指宿の地域の方々と共に、アートを活用した地域おこしで楽しんで課題解決をしていきたいです。

### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [koshitsu@city.ibusuki.jp](mailto:koshitsu@city.ibusuki.jp)  
(電話番号) 0993-22-2111 (内線127)  
(職場) 市長公室

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
「いぶすき暮らし」 <https://www.city.ibusuki.lg.jp/ijyu/>



### 基本情報



【年齢】  
35歳  
【出身地】  
和歌山県和歌山市  
【転出元】  
大阪府堺市  
【前職】  
Web・映像制作  
【活動時期】  
R4.6～R7.6  
(1年目)



### 協力隊に応募したきっかけ

前職である映像制作や動画編集のスキル、学生時代の映画上映のイベントやラジオ番組での情報発信全般を活かしたことを地方へ繋げていきたいという想いがあり、そこで目にした募集が志布志市の「住まいと仕事のコンサルジュ」でした。また、お付き合いしている彼女が志布志の出身で、志布志市について色々調べ興味を持ったのも理由の一つです。

### 今後の抱負・任期後の目標

志布志市に映画館を作るのが一つの目標です。最近では全国各地で様々な形の小さな映画館が増えているので、空き家を活用した映画館を作りたいと考えています。映画館もそうですが、空き家を活用して地域の方ももちろん、遠方から来られた方にも利用してもらえるような場所を増やせればと考えています。

### 活動内容

#### ●空き家バンク

空き家バンクに掲載している物件一覧ページが現状のままだと見づらいとの声があるので、移住交流支援センターのサイトの中に新しくページを作り、空き家バンクの利用を検討している方に見やすくなるように整備を進めています。



#### ●移住交流支援センターでの移住支援

移住交流支援センター「エスプラネード」で移住相談業務のお手伝いをしています。志布志市で生活するイメージを持ってもらいやすいように、自分自身の体験などをお話したり、大阪や東京での移住支援イベントに参加しています。



#### ●ふるさとCM制作

同じ協力隊の山田隊員とふるさとCMの制作をしました。それぞれ映像制作にかかわっていたこともあり、CM制作で隊員同士で連携して活動することが出来たのは良い経験になりました。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
42歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県横浜市  
【前職】  
主婦  
【活動時期】  
R2.9～R5.8  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

移住イベントで地域おこし協力隊のことを知り探していたところ、屋久島町の募集を見つけすぐに応募しました。いつか鹿児島に住みたいと思っていたことと、以前旅行できた際に島の方達に親切にいただいたことが忘れられませんでした。

### 今後の抱負・任期後の目標

任期も3年目に入り、残りわずかとなりました。コロナ禍で本来の活動（移住イベントへの参加など）大幅に少なくなりましたが、屋久島町へ定住に向けて準備していきます。地域で子供に関わる仕事や、移住の一手手前の段階をお手伝いするようなことができたらと考えています。

### 活動内容

#### ●移住セミナーへの参加

2022年5月に東京有楽町で開催された移住セミナーに参加しました。オンラインと違って対面だと相談に堪えた方の人柄、暮らしなどをより知ることができるのでとても勉強になりました。



#### ●DIYワークショップへの参加

他の地域での移住、空き家担当の協力隊と繋がりつつ、空き家の利活用のためのDIYワークショップに参加しています。



#### ●空き家バンクの登録、掘り起こし

空き家バンクへ登録する物件の撮影や、空き家になっている物件の聞き込みなどを行っています。物件が登録された際SNSで情報の発信もしています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(屋久島町地域おこし協力隊Facebook)  
<https://www.facebook.com/YakushimaTownChiikiokoshi>  
(やくしま移住 Instagram)  
[https://www.instagram.com/iju\\_8940/](https://www.instagram.com/iju_8940/)

### 基本情報



【年齢】  
42歳  
【出身地】  
福岡県北九州市  
【転出元】  
福岡県北九州市  
【前職】  
個人事業主  
【活動時期】  
R元年5月～  
3年目

### 協力隊に応募したきっかけ

子育て環境を変えるため、移住を考えるにあたりSMOUTにて募集を知り、活動内容と居住環境に惹かれて応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

集落や町に役立つような活動を行いたい。任期後も何かしら今の任務に繋がる活動をしたい。

### 活動内容

#### ●空き家調査

空き家バンク運営のため、町内の空き家調査を行い、空き家活用に繋がるよう活動をしています。所有者に向けての意向調査や、固定資産税の通知書に空き家活用・相続登記・危険空き家等の周知を広げるチラシ同封も行い、空き家活用を呼び掛けています。



#### ●移住相談

令和3年度は約160件の移住相談を受け、実際に来島された方には、空き家や集落案内を行い移住・定住に繋がるよう案内をしています。



#### ●空き家DIY

奄美大島は古い空き家が多いため、借りた人が直しながら住むというケースがよく見られます。そのため、実際に自分でやったらどのくらい予算や時間がかかるのかを伝えるため、DIYのイベントなどを開いています。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/tatsugo.iju> (FB)



### 基本情報



【年齢】  
33歳  
【出身地】  
富山県魚津市  
【転出元】  
富山県魚津市  
【前職】  
カフェ店員  
【活動時期】  
R4.6～R7.5  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

以前から地域おこし協力隊に興味があり、前職をやめる際に協力隊になることを検討し応募を決めた。奄美大島で生活してみたいと考えており、龍郷町での仕事と自分の思い描く生活が一致していたため、龍郷町へ応募した。

### 今後の抱負・任期後の目標

住民の方とお話をして関わり合いながら、自分にできることはなにか、町にはなにかが必要なのかを考えていきたい。町の人にも、移住者にとっても住みよい龍郷町になるような取り組みを行っていきたい。

### 活動内容

#### ●空き家バンク「住もうディ！」運営

空き家の掘り起こし、把握、情報の公開を行っている。また所有者と借り手の間にたち、契約がスムーズに行われるよう調整を行う。活用されていない空き家の所有者に対しては、連絡をして利活用の提案を行う。



#### ●移住相談

「住もうディ！」に来られた方への直接面談や電話、LINEでの移住相談を受ける。また移住相談イベントなどにも出席し、移住の際のアドバイスをを行う。



#### ●ラジオ番組出演

地域おこし協力隊でラジオ番組を持ち、隔週で放送中。地域の方にインタビューに伺ったり、情報を放送したりしている。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(電話番号) 0997-58-8843(空き家バンク)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/tatsugo.iju> (FB)